

## 2006年度 大学院生の研究活動記録

注

1. 先端人間科学講座所属生は、指導教員の関連学系に含める。
2. 研究生も含める。
3. 記載の仕方は院生の提出したものによる。
4. 論文の審査有無は、自己申告による。

行動学系	在籍者 81人	回答者 64人	研究成果 有 52	成果有の人数% 81%
	回答者率 79%		無 13	

指導教員	赤井 誠生	副指導教員	森川 和則			
1 氏名	松下 戦具	研究室名	基礎心理学	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査 有無
学会発表	配置の潜在記憶は明度から独立した概念的表象か	松下戦具 赤井誠生	200611月5日	日本心理学会第70回大会発表論文集 p597		
大学・研究所等報告	文脈手掛かり効果に関する諸研究	松下戦具 赤井誠生	印刷中	大阪大学人間科学研究科紀要第33巻,129-141.		

指導教員	三浦 利章	副指導教員	篠原 一光			
2 氏名	高原 美和	研究室名	適応認知行動学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査 有無
大学・研究所等報告	加齢に伴う注意・認知機能の変化と類型化	三浦利章・篠原一光・木村貴彦・高原美和	2006年2月	平成16年度文部科学省科学研究費補助金「特定領域研究」障害者・高齢者のコミュニケーション機能に関する基礎的研究(略称:情報福祉の基礎)研究成果報告書(印刷中)		
学会発表	ワーキングメモリ容量の個人差と注意制御機能の関係	高原美和・三浦利章・篠原一光・木村貴彦	2006年11月5日	日本心理学会第70回大会論文集 756.		
学会発表	注意制御に関する抑制機能と日常行動の関係に見られる年齢差	高原美和・三浦利章・篠原一光・木村貴彦	2006年8月1日	日本認知心理学会第4回大会論文集 112.		
学会発表	標的への感度における加齢変化—注意制御機能に関する検討—	高原美和・木村貴彦・篠原一光・三浦利章	2006年9月30日	基礎心理学研究 第25巻 147.(日本基礎心理学会第25回大会・発表要旨)		

指導教員	三浦 利章	副指導教員	篠原 一光			
3 氏名	岡 耕平	研究室名	適応認知行動学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査 有無
学会発表	知的障害者における巧緻性について -眼と両手の協応性から考える-	岡耕平・三浦利章	2006年8月4日	平成18年日本人間工学会アーゴデザイン部会主催コンセプト・事例発表会		
学会発表	知的障害者の手技作業巧緻性を低下させる要因:実際作業遂行時の視覚運動協応の時系列分析より	岡耕平・三浦利章	2006年11月19日	関西心理学会第118回大会		
大学・研究所等報告	知的障害者の視覚-運動協応研究の動向	岡耕平・三浦利章	2007年2月	大阪大学人間科学研究科紀要第33巻、143-162.		

### <受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
1905年6月28日	岡 耕平	関西心理学会研究奨励賞	関西心理学会

指導教員	三浦 利章	副指導教員	篠原 一光			
4 氏名	内藤 宏	研究室名	適応認知行動学	学年	DC 2 年次	審査 有無
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	リーチング動作が視覚的注意の空間特性に及ぼす影響	内藤宏・三浦利章・木村貴彦	2006年11月19日	関西心理学会第118回大会発表論文集		

指導教員	三浦 利章	副指導教員	篠原 一光			
5 氏名	駒田 悠一	研究室名	適応認知行動学	学年	DC 1 年次	審査 有無
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	同時に注意する対象数が方向変化検出にもたらす効果	駒田悠一・篠原一光・木村貴彦・三浦利章	2006年8月1日	第4回認知心理学会論文集, p114		
学術論文	聴覚刺激提示による記憶負荷が運転時の光点検出課題に及ぼす影響	木村貴彦・篠原一光・駒田悠一・三浦利章	2006年10月31日	交通科学,37(1) p21-26		
学会発表	模擬道路上における方向変化検出	駒田悠一・篠原一光・木村貴彦・三浦利章	2006年11月5日	日本心理学会第70回大会論文集, p763		○

指導教員	三浦 利章	副指導教員				
6 氏名	緑川 直幸	研究室名	適応認知行動学	学年	MC 2 年次	審査 有無
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	遠近注意移動に光学的流動と課題負荷が及ぼす影響	緑川直幸・木村貴彦・三浦利章	2006年11月5日	日本心理学会第70回大会論文集, p753.		

指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹	中村 敏枝		
7 氏名	木村 昌紀	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 3 年次	審査 有無
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	感情の表出とコミュニケーション	木村昌紀	2006年11月20日	北村英哉・木村晴編 感情研究の新展開、ナカニシヤ出版 Pp.223-241.		
学術論文	Interactional synchrony in conversations about emotional episodes: A measurement by "the between-participants pseudosynchrony experimental paradigm".	Masanori Kimura & Ikuo Daibo	2006年9月	Journal of Nonverbal Behavior, 30, 115-126.		
大学・研究所等報告	日本語版情動伝染尺度(the Emotional Contagion Scale)の作成	木村昌紀・余語真夫・大坊郁夫	2007年3月	対人社会心理学研究, 7, 31-39.		
学会発表	社会的スキルとしての対人コミュニケーション認知メカニズムの解明	木村昌紀・大坊郁夫・余語真夫	2006年9月18日	日本社会心理学会第47回大会発表論文集, 122-123		
学会発表	所属欲求尺度(the Need to Belong Scale)邦訳版尺度作成の試み	小林知博・谷口淳一・木村昌紀・Leary, M. R.	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集, p.220.		
学会発表	話題の感情価と社会的スキルが対人コミュニケーション認知に及ぼす影響	木村昌紀・大坊郁夫	2006年11月5日	日本心理学会第70回大会発表論文集, p.274.		

指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹			
8 氏名	毛 新華	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
分担執筆	第3章 KiSS-18の応用 KiSS-18の中国人への適用に関する検討	毛新華	2007年1月30日	菊池章夫編著 社会的スキルを測る:KiSS-18ハンドブック 川島書店 Pp.107-122.		○
大学・研究所等報告	KiSS-18の中国の大学生への適用	毛新華・大坊郁夫	2007年3月30日	対人社会心理学研究, 7, 55-60.		
学術論文	大学生社会技能量表(ChUSSI)的初步編制	毛新華・大坊郁夫	2006年10月1日	中国心理衛生雑誌, 20(10), 679-683.		
学術論文	3次元計測法による顔面表情に伴う顔形態特徴の測定(1)-中国人大学生の特徴-	大坊郁夫・上出寛子・毛新華	2006年9月23日	電子情報通信学会技術研究報告,106, 29-34.		
学術論文	3次元計測法による顔面表情に伴う顔形態特徴の測定(2)-中国人大学生の社会的スキルと顔面表情との関係-	上出寛子・大坊郁夫・毛新華	2006年9月23日	電子情報通信学会技術研究報告,106, 35-40.		
学会発表	中国における大学生社会的スキル尺度(ChUSSI)の有効性に関する研究	毛新華・大坊郁夫	2006年11月5日	日本心理学会第70回大会発表論文集 281.		
学会発表	KiSS-18の中国の大学生への適用	毛新華・大坊郁夫	2005年10月8日	日本パーソナリティ心理学会第15回大会発表論文集 148-149.		
学会発表	3次元計測法による顔面表情に伴う顔形態特徴の測定(1)-中国人大学生の特徴-	大坊郁夫・上出寛子・毛新華	2006年10月1日	日本顔学会第11回大会発表論文集 171.		
学会発表	3次元計測法による顔面表情に伴う顔形態特徴の測定(2)-中国人大学生の社会的スキルと顔面表情との関係-	上出寛子・大坊郁夫・毛新華	2006年10月1日	日本顔学会第11回大会発表論文集 172.		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2006年10月	毛 新華	文化の体験をとおして, 相互理解へ	心理学ワールド, 35号 p.32

指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹			
9 氏名	村山 綾	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	集団コミュニケーションにおける相互依存性の分析(2) 3人会話集団における会話満足度に影響を及ぼす要因	村山綾・清水裕士・大坊郁夫	2006年 7月10日	電子情報通信学会技術研究報告, 106( 146), 7-12.		
学術論文	集団コミュニケーションにおける相互依存性の分析(1) コミュニケーションデータへの階層的データ分析の適用	清水裕士・村山綾・大坊郁夫	2006年 7月10日	電子情報通信学会技術研究報告, 106( 146), 1-6.		
大学・研究所等報告(翻訳)	非言語コミュニケーションの統合モデルに向けて	Patterson,M.L.(翻訳:村山綾)	2007年3月	対人社会心理学研究, 7, 67-74.		
学会発表	小集団内葛藤と議論性が対処行動に及ぼす影響-関係葛藤・課題葛藤に注目して-	村山 綾・大坊郁夫	2006年 5月28日	日本グループ・ダイナミクス学会第53回大会発表論文集, 122-123.		
学会発表	情報配分と時間制限が-関係葛藤, 課題	村山 綾・大坊郁夫	2006年 9月18日	日本社会心理学学会第47回大会発表論文集, 428-429.		

指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹			
10 氏名	上出 寛子	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	3次元計測法による顔面表情に伴う顔形態特徴の測定(2)－中国人大学生の社会的スキルと顔面表情との関係－	上出寛子・大坊郁夫・毛新華	2006年9月	電子情報通信学会技術研究報告,106, 35-40.		
学術論文	3次元計測法による顔面表情に伴う顔形態特徴の測定(1)－中国人大学生の特徴－	大坊郁夫・上出寛子・毛新華	2006年9月	電子情報通信学会技術研究報告,106, 29-34.		
学会発表	関係内自己認知と親密度。－関係の種類による基礎的検討－	上出寛子・大坊郁夫	2006年5月	日本グループ・ダイナミクス学会第53回大会発表論文集, 258-259.		
学会発表	Unexamined life is not worth living.－吟味無し的人生は、生きるに値しない－	上出寛子・大坊郁夫	2006年9月	日本社会心理学学会第47回大会発表論文集, 4-5.		
学会発表	The effects of the subjective perception of the past interpersonal relationships on the present self and well-being	KAMIDE,H. and DAIBO, I.	2006年10月	Poster Presentation Presented at the 4th World Conference: Developing Resilience and Strength Across the Life Span, Oslo, Norway		
学会発表	Which dimensions of flexibility of self-aspects are beneficial for mental health?	KAMIDE,H. and DAIBO, I.	2007年1月	Poster Presentation Presented at The 8th annual Society for Personality and Social Psychology, Memphis, America		

指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹			
11 氏名	清水 裕士	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
著書	ソシオン理論入門 心と社会の基礎科学	藤澤等 監修 小杉考司・藤澤隆史・渡邊太・清水裕士・石盛真徳	2006年 4月1日	北大路書房		
著書	カトリーヌちゃんのサイコロ	関坂千里 著 ソシオンジュニア研究会 監修	2006年 4月1日	北大路書房		
学術論文	集団コミュニケーションにおける相互依存性の分析(1) コミュニケーションデータへの階層的データ分析	清水裕士・村山綾・大坊郁夫	2006年 7月10日	電子情報通信学会技術研究報告, 106,(146), 1-6.		
学術論文	集団コミュニケーションにおける相互依存性の分析(2) 3人会話集団における会話満足度に影響を及ぼす要因	村山綾・清水裕士・大坊郁夫	2006年 7月10日	電子情報通信学会技術研究報告, 106,(146), 7-12.		
学会発表	友人関係における相互作用が友人との関係性や個人の適応性に及ぼす影響 ～大学新生の孤独感と精神的健康の変化に影響を及ぼす要因について(3)～	清水裕士・金政祐司・谷口淳一	2006年 5月27日	日本グループダイナミクス学会第53回大会発表論文集, 222-223.		
学会発表	葛藤場面における規範的解決方略の研究 ～相互依存性理論に基づく葛藤構造の主観的変換と社会的スキルの関連～	清水裕士・大坊郁夫	2006年 9月18日	日本社会心理学学会第47回大会発表論文集, 108-109.		
国際シンポジウム	A study of nomative conflict resolution strategies in Japanese culture.	SHIMIZU, Hiroshi	2006年 9月10日	The 4th CEFOM/21 international symposium, Tokyo, Japan		
学会発表	Pop音楽におけるコード進行の構造とその認知(1)－非対称多次元尺度構成法によるコード進行の構造分析－	小杉考司・清水裕士	2006年11月3日	日本心理学会第70回大会発表論文集, 197.		

学会発表	Pop音楽におけるコード進行の構造とその認知(2) —コード進行の構造と印象評定の関連—	清水裕士・小杉考司	2006年11月3日	日本心理学会第70回大会発表論文集, 198.	
学会発表	Normative conflict resolution strategies and the role of social skills.	SHIMIZU, H & DAIBO, I	2007年1月27日	The 8th annual meeting of the Society for Personality and Social Psychology, Memphis, TN.	○
学術論文	恋愛関係の相互作用構造と関係安定性の関連:カップルデータへのペアワイズ相関分析の適用	清水裕士・大坊郁夫	2007年2月	社会心理学研究, 22, 295-304	○

指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹			
12 氏名	安井 理紗	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	モノの心理的機能への期待—所有物の心理的機能への期待はコミュニケーションの自信につながるか—	安井理紗・大坊郁夫	2007年10月8日	日本パーソナリティ心理学会第15回大会論文集 146-147		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007年10月	安井 理紗	日本パーソナリティ心理学会第15回大会 優秀大会発表賞	日本パーソナリティ心理学会

指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹			
13 氏名	笠置 遊	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	自己呈示に及ぼす状況要因の効果	笠置遊・外山みどり・大坊郁夫	2006年9月18日	日本社会心理学会第47回大会論文集 200-201.		

指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹			
14 氏名	横山 ひとみ	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	大学生の好む座席と好まない座席—学習意欲, 授業評価による検討—	横山ひとみ・小池浩子・大坊郁夫	2006年9月18日	日本社会心理学会第47回大会発表論文集, 536-537.		

指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹			
15 氏名	上原 依子	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	一般的信頼—信頼行動間の介在要因の検討—信頼情報過程アプローチを通して—	上原依子・青柳肇・大坊郁夫	2006年9月17日	日本社会心理学会第47回大会発表論文集, 424-425.		

指導教員	釘原 直樹	副指導教員	大坊 郁夫			
16 氏名	高田 亮	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次	審査 有無
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	順番によるプレッシャーが「あがり」に及ぼす影響	高田亮・釘原直樹	2006年9月17日	日本社会心理学会第47回大会発表論文集,254-255		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(1)-スケープゴート発生と変遷のメカニズム-	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・中島 渉・高田亮	2006年5月28日	日本グループダイナミクス学会第53回大会発表論文集, 130-131.		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(2)-研究方法と報道の全体的傾向について-	植村善太郎・高田亮・中島 渉・村上幸史・釘原直樹	2006年5月28日	日本グループダイナミクス学会第53回大会発表論文集, 132-133.		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(3)-非難対象の時間的変遷-	村上幸史・高田亮・中島 渉・植村善太郎・釘原直樹	2006年5月28日	日本グループダイナミクス学会第53回大会発表論文集, 134-135.		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(4)	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・中島 渉・高田亮	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集,240.		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(5)-報道の全体的傾向と非難・賞賛対象ごとの記事数の変化-	植村善太郎・高田亮・中島 渉・村上幸史・釘原直樹	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集,241.		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(6)-対象レベルを中心にした「波紋モデル」の検討-	村上幸史・高田亮・中島 渉・植村善太郎・釘原直樹	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集,242.		

指導教員	釘原 直樹	副指導教員	大坊 郁夫			
17 氏名	中島 渉	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次	審査 有無
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	時間・空間的視点からの手抜き研究	中島 渉・釘原直樹	2006年5月27日	日本グループダイナミクス学会第53回大会発表論文集, 286-287.		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(1)-スケープゴート発生と変遷のメカニズム-	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・中島 渉・高田亮	2006年5月28日	日本グループダイナミクス学会第53回大会発表論文集, 130-131.		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(2)-研究方法と報道の全体的傾向について-	植村善太郎・高田亮・中島 渉・村上幸史・釘原直樹	2006年5月28日	日本グループダイナミクス学会第53回大会発表論文集, 132-133.		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(3)-非難対象の時間的変遷-	村上幸史・高田亮・中島 渉・植村善太郎・釘原直樹	2006年5月28日	日本グループダイナミクス学会第53回大会発表論文集, 134-135.		
学会発表	時間は人をつき動かすのか? ~時間・空間的視点からのパフォーマンスや動機づけに関する研究~	中島 渉・釘原直樹	2006年9月17日	日本社会心理学会第47回大会発表論文集, 388-389.		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(4)	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・中島 渉・高田亮	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集, 240.		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(5)-報道の全体的傾向と非難・賞賛対象ごとの記事数の変化-	植村善太郎・高田亮・中島 渉・村上幸史・釘原直樹	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集, 241.		
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(6)-対象レベルを中心にした「波紋モデル」の検討-	村上幸史・高田亮・中島 渉・植村善太郎・釘原直樹	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集, 242.		

指導教員	大坊 郁夫				
18 氏名	藤本 学	研究室名	対人社会心理学	学年	研究生
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
ワークショップ (話題提供者)	コーディング法を用いた多人数会話の量的研究から	(企画責任者) 榎本美香 (話題提供者) 榎本美香、高木南欧子、中井陽子、藤本 学、坊農真弓、森本郁代 (指定討論者) 高梨克也、伝康晴	2006年8月27日	社会言語科学会第18回大会発表論文集, 221-230 (担当箇所: 225-227)	○
学術論文	小集団会話における話者の発言傾向を規定する3要素	藤本 学・大坊郁夫	2006年9月1日	社会言語科学, 9, 48-58.	○
学会発表	中規模集団用ソシオプロフィール法による学級集団のソシオメトリック構造の変動に関する検討	藤本 学	2006年9月16日	日本教育心理学会第48回総会発表論文集, 26.	
学会発表	状況要因を考慮したコミュニケーション参与スタイルに基づく発話行動生起プロセス	藤本 学	2006年11月3日	日本心理学会第70回大会発表論文集, 142.	
学術論文	小集団コミュニケーションにおける話者の叙述パターン	藤本 学・大坊郁夫	印刷中	社会心理学研究, 23	○

指導教員	大坊 郁夫				
19 氏名	村上 幸史	研究室名	対人社会心理学	学年	研究生
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
学術論文	「お守り」をもつことの機能: 贈与者と被贈与者の関係に注目して	荒川歩・村上幸史	2006年8月18日	社会心理学研究, 22, 85-97.	○
学術論文	「ツキ」の正体を探る	村上幸史	2006年10月20日	別冊國文學, 61, 192-198.	
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(1) - スケープゴート発生と変遷のメカニズム -	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・中島渉・高田亮	2006年5月28日	日本グループダイナミクス学会第53回大会論文集, 130-131.	
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(2) - 研究方法と報道の全体的傾向について -	植村善太郎・高田亮・中島渉・村上幸史・釘原直樹	2006年5月28日	日本グループダイナミクス学会第53回大会論文集, 132-133.	
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(3) - 非難対象の時間的変遷 -	村上幸史・中島渉・高田亮・植村善太郎・釘原直樹	2006年5月28日	日本グループダイナミクス学会第53回大会論文集, 134-135.	
学会発表	変わらないことに価値がある? - 運命のイメージから生得性を探る -	村上幸史	2006年9月17日	日本社会心理学会第47回大会論文集, 398-399.	
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(4)	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・中島渉・高田亮	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会論文集, 240.	
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(5) - 報道の全体的傾向と非難・賞賛対象ごとの記事数の変化 -	植村善太郎・高田亮・中島渉・村上幸史・釘原直樹	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会論文集, 241.	
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(6) - 対象レベルを中心にした「波紋モデル」の検討 -	村上幸史・中島渉・高田亮・植村善太郎・釘原直樹	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会論文集, 242.	

学会発表	コスト認知とリスク認知のバランスが違反行動の生起に及ぼす影響	村上幸史・臼井伸之介・和田一成・篠原一光・神田幸治・中村隆宏・山田尚子・太刀掛俊之	2006年11月19日	関西心理学会大会第118回大会論文集,134-135.
話題提供	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷 —JR福知山線脱線事故報道を例として—(WS・マスコミによるスケープゴート過程の解明に向けて 話題提供)	村上幸史	2006年11月3日	日本心理学会第70回大会
話題提供	親子間でのお守り贈与の意味(WS・モノ媒介コミュニケーション)	村上幸史	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会

指導教員	藤田 綾子	副指導教員	恒藤 暁			
20 氏名	赤澤 正人	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学術論文	児童の死の概念に関する研究	赤澤正人	2006年12月8日	臨床死生学, 11(1), 24-33.	○	
学術論文	養護教諭を対象としたデス・エデュケーションに関する意識調査～学校現場で生と死を教えることについて～	赤澤正人・西牧真里・坂口幸弘・恒藤暁	2006年12月20日	ホスピスケアと在宅ケア, 14(3), 195-200	○	
紀要論文	いのちの教育のねらいと評価	赤澤正人	2006年12月25日	生老病死の行動科学, 11, 123-129	○	
研究報告	いのちの大切さを実感させる教育のあり方	高木慶子・近藤靖宏・原実男・宮崎啓子・西本義之・赤澤正人・古田晴彦	2006年	ヒューマンケア実践研究支援事業成果報告書		
学会発表	いのちの教育の実践	赤澤正人・平井啓・恒藤暁・藤田綾子	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会		
学会発表	現代青年の死の概念	赤澤正人	2006年11月25日	日本臨床死生学会第12回大会		

指導教員	藤田 綾子	副指導教員				
21 氏名	平井 麻紀	研究室名	臨床死生学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学会発表	平成17年度調査からみた長野県におけるこころの健康づくり対策の実態	平井麻紀・小泉典章・小山せつ子	2006年8月19日	信州公衆衛生雑誌, 1, 1, 36-37.	○	

指導教員	藤田 綾子	副指導教員	恒藤 暁			
22 氏名	尾崎 勝彦	研究室名	臨床死生学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	森林散策による情動変化とそれに関連する要因	尾崎勝彦・増本康平・平井 啓・恒藤 暁・藤田綾子	2006年4月3日	日本森林学会第117回大会論文集 J11		
学会発表	「自然に親しむこと」と「科学」の心理的乖離	尾崎勝彦・増本康平・平井 啓・恒藤 暁・藤田綾子	2006年8月4日	日本理科教育学会第56回全国大会論文集 1H-14		
学会発表	辛く悲しいけれども前向きに生きていく	尾崎勝彦・恒藤暁	2006年10月31日	死の臨床48、29(2)、235		
学会発表	ユニバーサルデザイン・ワーキンググループについて	ユニバーサルデザインWG	2006年11月25日	第20回天文教育研究会2006年天文教育普及研究会年会集録、74-79		
大学・研究所等報告	自然接触における注意回復理論の適用の動向	尾崎勝彦	2006年12月25日	生老病死の行動科学、11,111-121		○

指導教員	藤田 綾子	副指導教員	恒藤 暁			
23 氏名	森田 敬史	研究室名	臨床死生学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	災害看護教育の現状を検討する	山東純子・辰巳有紀子・森田敬史・津島和美・狩谷明美・上村佳永	2006年7月29日	日本災害看護学会第8回年次大会講演集 95.		
学会発表	家族への直接的援助のあり方に関する考察 —集中治療室に入室した患者家族のニーズ調査結果に基づいて—	辰巳有紀子・森田敬史・山東純子・狩谷明美・上村佳永	2006年7月29日	日本災害看護学会第8回年次大会講演集 101.		
学会発表	遺族支援における仏教僧侶の役割と死生観に関する一考察	森田敬史	2006年8月27日	仏教看護・ビハーラ学会第2回年次大会プログラム・予稿集 32-33.		
学会発表	遺族向けの悲嘆パンフレットの開発	黒川雅代子・米虫圭子・坂口幸弘・西牧真里・岡本双美子・瀬良信勝・森田敬史・船原徹雄・恒藤暁	2006年11月4日	第30回日本死の臨床研究会プログラム・予稿集 219.		
大学・研究所等報告	デモラリゼーションに関する研究の動向	森田敬史	2006年12月	生老病死の行動科学、11, 95-110.		

指導教員	藤田 綾子	副指導教員	恒藤 暁			
24 氏名	古村 和恵	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	がん患者のコントロール感と心理的苦痛の関係性	古村和恵・平井啓・所昭宏・黒丸尊治・兵頭一之介・住吉義光	2006年6月9日	第19回日本サイコオンコロジー学会、京都ばるる		
学会発表	The Application of the Theory of Planned Behaviour and the Trans-theoretical Model to the Use of Complementary and Alternative Medicine in Japanese Cancer Patients	Komura, K., Hirai, K., Tokoro, A., Kuromaru, A. & Hyodo, I	2006年10月19日	8th World Congress of Psycho-Oncology, Venice		

指導教員	藤田 綾子	副指導教員	恒藤 暁			
25 氏名	久保 尚子	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
大学・研究所等報告	高齢者の心身の健康維持・予防行動に及ぼす自己効力感の影響に関する研究	藤田綾子・久保尚子	2006年6月	大阪ガスグループ福祉財団研究調査報告書, 19, 105-109.		
大学・研究所等報告	高齢者の身体活動・運動を中心とした健康行動に関する研究の動向	久保尚子	2006年12月	生老病死の行動科学, 11, 139-147.		○

指導教員	藤田 綾子	副指導教員	恒藤 暁			
26 氏名	中里 和弘	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	死別後の主観的回復度を表す表現に関する予備的研究	中里和弘・黒田輝政・藤田綾子・藤原篤史	2006年6月25日	日本老年社会科学第48回大会論文集,253.		
学会発表	祖父母の死に対する孫の認識と死別反応に関する検討	中里和弘・石原俊一	2006年9月9日	日本健康心理学会第19回大会論文集,88.		
学会発表	大切な人を亡くされた方のところに寄り添う小冊子の作成を目指して	中里和弘・黒田輝政・藤田綾子	2006年9月24日	日本介護福祉学会第14回大会論文集,131.		
学会発表	故人に対する情緒的依存性と死別反応との関連性について	中里和弘・黒田輝政	2006年11月4日	日本死の臨床研究会第30回大会論文集,217		
学術論文	青年期における祖父母との死別に関する研究(第1報)－祖父母の死に対する認識と死別反応についての検討－	中里和弘	2006年12月25日	生老病死の行動科学,11,11－20.		○
学術論文	青年期における祖父母との死別に関する研究(第2報)－死別反応とその関連要因(性格特性、故人の生前の機能)についての検討－	中里和弘	2006年12月25日	生老病死の行動科学,11,21－30.		○
学術論文	実際の身体能力と身体能力の自己評価の関係に関する研究－高齢者と若年者のまたぎ能力の比較－	荒井龍淳・中原純・中里和弘・増本康平・藤田綾子	2006年12月25日	生老病死の行動科学,11,43－52.		○
研究所等報告	死別からの回復について(調査)	中里和弘・藤田綾子・黒田輝政	2007年1月29日	NPOホスピス・ホームケア協会編, 家で死にたい・看とりたい, Pp.45－49.		
研究所等報告	死別からの回復について	中里和弘・藤田綾子・黒田輝政	2007年2月1日	ホスピス・ホームケア研究,44,3－6.		
会報誌	「こころ」にふれる交流を、「こころ」に寄り添う言葉を一定例会に参加して－	中里和弘	2005年10月10日	大阪・生と死を考える会会報,23,7－8.		
会報誌	会員を訪ねていのちに向き合う(4) 同じような体験をした人とともに歩みたい	中里和弘	2006年3月31日	NPO法人 生と死を考える会会報,101,11－13.		
会報誌	高木慶子氏講演「隣人を愛せよ－私の宗教観と死別の癒し」を聞いて	中里和弘	2006年7月10日	大阪・生と死を考える会会報,25,4－9.		
会報誌	お便り紹介 ひだまりの会に参加して	中里和弘	2006年4月16日	遺族&エルダーライフサポート会報誌,8,18－19.		

指導教員	藤田 綾子	副指導教員	恒藤 暁			
27 氏名	荒井 龍淳	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	身体能力認知と心理的要因の関係に関する研究 — 高齢者と若年者の「またぎ」能力の比較 —	荒井龍淳・増本康平・藤田綾子	2006年6月10日	老年社会科学会第48回大会論文集 142		○
学術論文	実際の身体能力と身体能力の自己評価の関係に関する研究—高齢者と若年者のまたぎ能力の比較—	荒井龍淳・中原純・中里和弘増本康平・藤田綾子	2006年12月25日	生老病死の行動科学, 11, 43-52.		

指導教員	藤田 綾子	副指導教員	恒藤 暁			
28 氏名	上野 大介	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	大学生の特性不安と単語刺激の評価が注意バイアスと顕在的記憶に及ぼす影響	上野大介・増本康平・久保尚子・平井啓	2006年12月25日	生老病死の行動科学 第11巻		

指導教員	桑野 園子	副指導教員	青野 正二			
29 氏名	藤原 舞	研究室名	環境心理学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	Loudness Evaluation of Various Musical Genres and Types of Listening Behaviour	Laumann・Hugo Fastle・Kuwano	2006年3月16日	日本音響学会 2006年春季研究発表会		
学会発表	Audio-Visual interaction in the image of evaluation of the Environment - an on-site investigation	Shoji Aono・Sonoko Kuwano	2006年12月4日	第35回 国際騒音制御工学会		
学会発表	生活環境の印象評価における視聴覚相互作用に関する研究 - 現場実験と実験室実験による検討 -	藤原舞・青野正二・桑野園子	2007年3月13日 (予定)	日本音響学会 2007年春季研究発表会		

指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	中村 敏枝	(先端人間科学講座)		
30 氏名	松本 友一郎	研究室名	リスク人間科学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	看護師の人間関係とバーンアウトの関連	松本友一郎・臼井伸之介	2006年9月2日	産業・組織心理学会第22回大会発表論文集 57-60.		
学会発表	看護師の対人ストレスに関する検討	松本友一郎・臼井伸之介	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集 177.		
学会発表	看護場面における違反事例の収集とその内容分析—心理的要因との関連—	安達悠子・臼井伸之介・松本友一郎・青木喜子・篠原一光・山田尚子・神田孝治・中村隆宏・和田一成・太刀掛俊之	2006年12月2日	平成18年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集 63-66.		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
1905年6月28日	松本 友一郎	平成18年度JAIOP研究支援	産業・組織心理学会

指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	中村 敏枝	(先端人間科学講座)		
31 氏名	中井 宏	研究室名	リスク人間科学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	リスクテイキング傾向の個人内一貫性に関する研究	中井宏・臼井伸之介	2006年5月31日	交通科学, Vol.36(2), 117-118.		○
学術論文	自動車運転場面におけるリスクテイキング行動に関する研究	中井宏・臼井伸之介	2006年8月23日	電子情報通信学会技術研究報告, Vol.106(220), 1-4.		
学術論文	運転場面におけるリスクテイキング行動の一貫性検証	中井宏・臼井伸之介	2006年11月30日	応用心理学研究, Vol.32(1), 1-10.		
学会発表	運転技能の自己評価が運転場面での実行動に及ぼす影響の分析	中井宏・臼井伸之介	2006年9月9日	日本応用心理学会第73回大会発表論文集, 53		
学会発表	リスク敢行/回避の規定因に関する研究	中井宏・臼井伸之介	2006年11月19日	関西心理学会第118回大会発表論文集, 49		

指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	中村 敏枝	(先端人間科学講座)		
32 氏名	安達 悠子	研究室名	リスク人間科学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	看護場面における危険認知に関する実験的検討	安達 悠子・臼井伸之介	2006年11月3日	日本心理学会第70回大会発表論文集, 1333.		
学会発表	看護場面における違反事例の収集とその内容分析ー心理的要因との関連ー	安達 悠子・臼井伸之介・松本友一郎・青木喜子・篠原一光・山田尚子・神田孝治・中村隆宏・和田一成・太刀掛俊之	2006年12月2日	日本人間工学会関西支部平成18年度支部大会発表論文集, 63-66.		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2006年10月	安達 悠子	学会発表支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科フィールドワーク支援オフィス
2006年12月	安達 悠子	優秀発表賞	日本人間工学会関西支部

指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	中村 敏枝	(先端人間科学講座)		
33 氏名	小倉 有紗	研究室名	リスク人間科学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	作業の中断: 中断への移行パターンが作業パフォーマンスに及ぼす影響	小倉有紗・臼井伸之介	2006年11月3日	日本心理学会第70回大会論文集.620		
学会発表	作業の中断: テキストエディタ作業におけるinterruption lagの効果	小倉有紗・臼井伸之介	2006年11月19日	関西心理学会第118回大会論文集.46		

指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	中村 敏枝	(先端人間科学講座)		
34 氏名	瀧 真輝	研究室名	リスク人間科学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	Analysing of Maritime Accidents by Approaching Method for Minimizing Human Error	Serdar Kum, Masao Furusho, Masaki Fuchi	2006年10月1日	Proceedings of Globalization and MET, 7th Annual General Assembly and Conference, The International Association of Maritime Universities, pp.392-409		

指導教員	日野林 俊彦	副指導教員	南 徹弘	中道 正之		
35 氏名	岸本 健	研究室名	比較発達心理学	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	Audience effect in infants' pointing gestures.	岸本健・志澤康弘・日野林俊彦・南 徹弘	2006年6月20日	The 15th Biennial International Conference on Infant Studies (on CD-ROM)		○
学会発表	Communicative intentionality in infants' pointing gestures	岸本健・志澤康弘・日野林俊彦・南 徹弘	2006年7月4日	The 19th Biennial Meeting of the International Society for the Study of Behavioural Development (on CD-ROM)		○
学会発表	Gaze following and pointing gestures in 2-year-old peers.	岸本健・志澤康弘・日野林俊彦・南 徹弘	2006年9月2日	The 4th International Workshop for Young Psychologists on Evolution and Development of Cognition		
学会発表	2歳齢保育園児は他児の視線を追従するか?	岸本健・志澤康弘・安田 純・日野林俊彦・南 徹弘	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集, 1182		
学会発表	クレーン行動 (1)	川上清文, 高井清子, 友永雅己, 岸本健, 南 徹弘	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集, 1180		
学会発表	クレーン行動 (2)	高井清子, 川上清文, 友永雅己, 岸本健, 南 徹弘	2007年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集, 1181		
学会発表	指さしか発声か? 養育者から言語的応答を引き出す要因	岸本健・志澤康弘・安田 純・日野林俊彦・南 徹弘	2007年3月24日	日本発達心理学会第18回大会発表論文集, 605		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2006.4-2007.3	岸本 健	フィールドワーク支援基金 (126000円)	大阪大学大学院人間科学研究科・魅力ある大学院教育イニシアティブプログラム (大学院GP)
2006.4-2007.3	岸本 健	学会発表支援基金 (107800円)	大阪大学大学院人間科学研究科・魅力ある大学院教育イニシアティブプログラム (大学院GP)

指導教員	日野林 俊彦	副指導教員	南 徹弘	中道 正之		
36 氏名	山川 咲子	研究室名	比較発達心理学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	身体接触をともなう幼児の仲間関係	山川咲子・安田純・日野林俊彦・南 徹弘	2006年10月	日本心理学会第70回大会発表論文集 P.1106		
学会発表	幼児期の身体接触を伴う仲間関係の発達の变化	山川咲子・安田純・日野林俊彦・南 徹弘	2007年2月1日	日本発達心理学会第18回大会発表論文集 P.696		

指導教員	日野林 俊彦	副指導教員	南 徹弘	中道 正之		
37 氏名	加藤 真由子	研究室名	比較発達心理学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	環境エンリッチメントによる離乳期ラットの空間学習と脳の変化	加藤真由子・小賀泉実・岡市広成	2006年10月14日	動物心理学研究, 第56巻第2号 130.		

指導教員	中道 正之	副指導教員	南 徹弘	日野林 俊彦		
38 氏名	山田 一憲	研究室名	比較発達心理学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	A fatal attack on an unweaned infant by a non-resident male in a free-ranging group of Japanese macaques ( <i>Macaca fuscata</i> ) at Katsuyama.	K. YAMADA & M. NAKAMICHI	2006年4月	Primates 47: 165-169		○
学会発表	Age at menarche of Japanese schoolgirls in February 2005.	T. HINOYAYASHI, S. AKAI, J. YASUDA, Y. SHIZAWA, K.YAMADA & T. MINAMI	2006年6月6日	19 <sup>TH</sup> Biennial Meeting of International Society for the Study of Behavioural Development, July 2-6, 2006, Melbourne, Australia		
学会発表	ニホンザル青年期の母娘関係に見られる多様性	山田一憲・中道正之	2006年7月16日	霊長類研究 22 (増補版): pp.S-2		
学会発表	一方的に毛づくろいを受ける低順位ニホンザルメスの事例研究	大西賢治・山田一憲・中道正之	2006年7月16日	霊長類研究 22 (増補版): pp. S-2		
学会発表	ニホンザル集団における長期間の毛づくろいパートナー関係	中道正之・山田一憲	2006年7月16日	霊長類研究 22 (増補版): pp. S-20		
学会発表	Infanticide in Japanese macaques ( <i>Macaca fuscata</i> ): When does it occur?	K. YAMADA & M. NAKAMICHI	2006年8月18日	American Journal of Primatology 68 (supplement 1): pp.81-82		○
学会発表	Mother-infant conflict in Japanese macaques ( <i>Macaca fuscata</i> ) during weaning: Does infant know when the mother allows it to put her nipple in the mouth?	K. YAMADA & M. NAKAMICHI	2006年9月2日	The 4 <sup>TH</sup> International Workshop for Young Psychologists on Evolution and Development of Cognition, September 2-3, 2006, Kyoto, Japan		
学術論文	Grooming interactions between unrelated Adult Females in a Free-ranging group of Japanese macaques ( <i>Macaca fuscata</i> ).	M. NAKAMICHI & K. YAMADA	2007年1月10日 (online first)	American Journal of Primatology (in press)		○

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2006年9月4日	山田 一憲	第22回日本霊長類学会大会最優秀口頭発表賞	日本霊長類学会

指導教員	中道 正之	副指導教員	南 徹弘	日野林 俊彦		
39 氏名	大西 賢治	研究室名	比較発達心理学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	一方的に毛づくろいを受ける低順位ニホンザルメスの事例研究	大西賢治・山田一憲・中道正之	2006年7月16日	霊長類研究 Vol.22 (増補版): pp. S-2		
学会発表	勝山ニホンザル集団における母子が離れた場面での相互交渉に関する研究	大西賢治・中道正之	2006年11月5日	日本心理学会第70回大会発表論文集 1243		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2006.7	大西 賢治	第22回日本霊長類学会大会 優秀口頭発表賞	日本霊長類学

指導教員	山本 隆	副指導教員	志村 剛			
40 氏名	松岡 藍	研究室名	行動生理学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	ラットの味溶液摂取におけるセロトニンの関与	松岡藍・山本千珠子・乾賢・竹村元秀・山本隆	2006年7月12日	日本味と匂学会誌 (2006) Vol.13 No.3 379-382		
学術論文	ラットの味溶液摂取におけるセロトニンの関与	松岡藍・山本千珠子・乾賢・竹村元秀・山本隆	2006年12月	日本味と匂学会誌 (2006) Vol.13 No.3 379-382		○
学術論文(要約)	The role of serotonin in the intake of taste solutions in rats.	松岡藍・山本千珠子・乾賢・竹村元秀・山本隆		Chemical senses (In printing)		

指導教員	熊倉 博雄	副指導教員	中野 良彦			
41 氏名	田淵 規之	研究室名	行動形態学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	Training Hidden Markov Model Structure with Genetic Algorithm for Human Motion Pattern Classification	Shuhei Manabe, Toshiharu Hatanaka, Noriyuki Tabuchi, Tomoyuki Matsuo, Ken Hashizume, Katsuji Uosaki	2006年10月	SICE-ICASE International Joint Conference 2006		
学術論文	Bat speed, trajectory, and timing for collegiate baseball batters hitting a stationary ball	Noriyuki Tabuchi, Tomoyuki Matsuo, Ken	2007年1月	Sports Biomechanics, 6(1), 17-30		○

指導教員	熊倉 博雄	副指導教員	中野 良彦			
42 氏名	日暮 泰男	研究室名	行動形態学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	ニホンザルの樹上移動運動に関する運動学的分析	日暮泰男・平崎鋭矢・熊倉博雄	2006年11月5日	日本人類学会第60回大会論文集 40		○
学術論文	Density of muscle spindles in prosimian shoulder muscles reflects locomotor adaptation	Yasuo HIGURASHI, Yuki TANIGUCHI, and Hiroo KUMAKURA	2006年	Cells Tissues Organs 184(in press)		
学会発表	原猿類における肩の腱板の筋紡錘密度の変異とロコモーションとの関連	日暮泰男・谷口雪・熊倉博雄	2007年3月26日	形態科学(印刷中)		

指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕			
43 氏名	森 丈治	研究室名	行動データ科学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	混合分布で構成される項目特性曲線を持つIRTの提案	森丈治・足立浩平	2006年9月7日	2006年度統計関連学会連合大会 103-104		
学会発表	混合分布で構成される項目特性曲線を持つIRTの提案	森丈治・宮本友介	2006年9月12日	日本行動計量学会第34回大会 30-33		
大学・研究所等報告	混合分布で構成される項目特性曲線を持つIRTの提案	森丈治	2006年8月6日	統計数理研究所共同研究集会 統計サマーセミナー2006		

指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕			
44 氏名	浅田 優	研究室名	行動データ科学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	個人差を考慮した3点間角度による非類似性の空間表現	宮本友介・浅田優	2006年9月13日	日本行動計量学会第34回大会論文集		
研究会発表(パネル形式)	個人差を考慮した3点間角度による非類似性の空間表現	浅田優	2006年8月5日	統計サマーセミナー2006抄録集		

指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕			
45 氏名	植村 菜穂子	研究室名	行動データ科学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	セルフコントロール理論における性別の検討	植村菜穂子	2006年9月12日	日本行動計量学会第34回大会		

指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕			
46 氏名	西田 豊	研究室名	行動データ科学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	基準率錯誤と等確率性仮説	西田豊・服部雅史	2006年8月3日	日本認知科学会第23回大会発表論文集, 236-237		
学会発表	基準率錯誤と課題の偏確率構造	西田豊・服部雅史	2006年11月2日	日本心理学会第70回大会発表論文集, 910		

指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕			
47 氏名	山本 倫生	研究室名	行動データ科学研究分野	学年	MC 1 年次	審査 有無
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
研究会ポスター発表	B-スプライン基底を用いた非線形因子分析のパラメータ推定	山本倫生	2006年8月7日	統計サマーセミナー2006報告集		
学会発表	B-スプライン基底を用いた非線形因子分析のパラメータ推定	山本倫生・宮本友介	2006年9月13日	日本行動計量学会第34回大会抄録集		

指導教員	中村 敏枝	副指導教員	臼井 伸之介			
48 氏名	河瀬 諭	研究室名	感性情報心理学	学年	DC 3 年次	審査 有無
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	非言語的コミュニケーションにおける音響情報と視覚情報の関係	河瀬諭, 中村敏枝 他5名	2006年8月	日本認知心理学会第4回大会発表論文集		
学会発表	演奏の手がかりとしての非言語行動	河瀬諭, 中村敏枝 他5名	2006年9月	ヒューマンインターフェースシンポジウム2006論文集		
学会発表	打楽器を用いたインタラクション中の視線行動	河瀬諭, 中村敏枝 他3名	2006年11月	日本心理学会第70回大会発表論文集		
学会発表	音楽演奏場面における参加者間の情報伝達過程	河瀬諭, 中村敏枝 他2名	2006年11月	日本音楽知覚認知学会, 2006年秋季研究発表会		
学会発表	2者の合奏における身体動作の役割	片平建史, 中村敏枝, 河瀬諭, 他4名	2006年8月	日本認知心理学会第4回大会発表論文集		
学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究-聴取者と情動の関係-	安田晶子, 中村敏枝, 河瀬諭, 他4名	2006年8月	日本認知心理学会第5回大会発表論文集		
学会発表	年代別にみた音楽聴取時の“感動”について	川上愛, 中村敏枝, 河瀬諭, 他4名	2006年8月	日本認知心理学会第6回大会発表論文集		
学会発表	演奏中の演奏者間において伝達される感性情報に関する実験的研究	小幡哲史, 中村敏枝, 河瀬諭, 他4名	2006年8月	日本認知心理学会第7回大会発表論文集		
学会発表	飲食店におけるBGMの効果-店内騒音との関係についての検討	堀中康行, 中村敏枝, 河瀬諭, 他4名	2006年8月	日本認知心理学会第8回大会発表論文集		
学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究-聴取者の情動および演奏音の音響的特性との関係-	安田晶子, 中村敏枝, 河瀬諭, 他3名	2006年9月	ヒューマンインターフェースシンポジウム2006論文集		
学会発表	2者による電子ドラム打叩の等間隔同期課題における身体動作の分析	片平建史, 中村敏枝, 河瀬諭, 他3名	2006年9月	ヒューマンインターフェースシンポジウム2007論文集		
学会発表	2者のバイオリン演奏における身体動作の分析	小幡哲史, 中村敏枝, 河瀬諭, 他3名	2006年9月	ヒューマンインターフェースシンポジウム2008論文集		
学会発表	BGM のマスキング効果-飲食店映像呈示による実験室的検討-	堀中康行, 中村敏枝, 河瀬諭, 他3名	2006年9月	ヒューマンインターフェースシンポジウム2009論文集		
学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究-演奏音に対する聴取者の好悪と情動の観点から-	安田晶子, 中村敏枝, 河瀬諭, 片平建史	2006年11月	日本心理学会第70回大会発表論文集		
学会発表	2者による電子ドラム打叩の等間隔同期課題における身体動作の役割	片平建史, 中村敏枝, 河瀬諭, 他2名	2006年11月	日本心理学会第70回大会発表論文集		

	指導教員	中村 敏枝	副指導教員	臼井 伸之介			
49	氏名	片平 建史	研究室名	感性情報心理学	学年	DC 1 年次	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学会発表	2者の合奏における身体動作の役割	片平建史, 中村敏枝, 河瀬諭, 川上愛, 安田晶子, 小幡哲史, 堀中康行	2006年8月1日	日本認知心理学会第4回大会発表論文集 Pp.19		
	学会発表	非言語的コミュニケーションにおける音響情報と視覚情報の関係	河瀬諭, 中村敏枝, 片平建史, 川上愛, 安田晶子, 小幡哲史, 堀中康行	2006年8月1日	日本認知心理学会第4回大会発表論文集 pp.20		
	学会発表	演奏中の演奏者間において伝達される感性情報に関する実験的研究	安田晶子, 中村敏枝, 河瀬諭, 川上愛, 片平建史, 小幡哲史	2006年8月1日	日本認知心理学会第4回大会発表論文集 pp.104		
	学会発表	年代別にみた音楽聴取時の“感動”について	川上愛, 中村敏枝, 河瀬諭, 片平建史, 安田晶子, 小幡哲史, 堀中康行	2006年8月1日	日本認知心理学会第4回大会発表論文集 pp.105		
	学会発表	飲食店におけるBGMの効果—店内騒音との関係についての検討	堀中康行, 中村敏枝, 河瀬諭, 片平建史, 川上愛, 安田晶子	2006年8月1日	日本認知心理学会第4回大会発表論文集 pp.109		
	学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究—聴取者の情動との関係—	安田晶子, 中村敏枝, 河瀬諭, 川上愛, 片平建史, 小幡哲史	2006年8月2日	日本認知心理学会第4回大会発表論文集 pp.26		
	学会発表	2者による電子ドラム打叩の等間隔同期課題における身体動作の分析	片平建史, 中村敏枝, 河瀬諭, 安田晶子, 小幡哲史, 堀中康行	2006年9月26日	ヒューマンインターフェースシンポジウム 2006論文集 Pp.299-302		
	学会発表	演奏の手がかりとしての非言語行動	河瀬諭, 中村敏枝, 片平建史, 安田晶子, 小幡哲史, 堀中康行	2006年9月27日	ヒューマンインターフェースシンポジウム 2006論文集pp.689-694		
	学会発表	BGMのマスク効果?飲食店映像呈示による実験室的検討	堀中康行, 中村敏枝, 河瀬諭, 片平建史, 安田晶子, 小幡哲史	2006年9月27日	ヒューマンインターフェースシンポジウム 2006論文集pp.867-870		
	学会発表	2者のバイオリン演奏における身体動作の分析	小幡哲史, 中村敏枝, 河瀬諭, 片平建史, 安田晶子, 堀中康行	2006年9月27日	ヒューマンインターフェースシンポジウム 2006論文集pp.879-882		
	学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究—聴取者の情動および演奏音の音響的特性との関係—	安田晶子, 中村敏枝, 河瀬諭, 片平建史, 小幡哲史, 堀中康行	2006年9月28日	ヒューマンインターフェースシンポジウム 2006論文集pp.1205-1210		
	学会発表	打楽器を用いたインタラクション中の視線行動	河瀬諭, 中村敏枝, 片平建史, 川上愛, 安田晶子	2006年11月3日	日本心理学会第70回大会発表論文集 Pp.544		
	学会発表	2者による電子ドラム打叩の等間隔同期課題における身体動作の役割	片平建史, 中村敏枝, 河瀬諭, 川上愛, 安田晶子	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集 Pp.692		
	学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究—演奏音に対する聴取者の好悪と情動の観点から—	安田晶子, 中村敏枝, 河瀬諭, 片平建史	2006年11月4日	日本心理学会第70回大会発表論文集 pp.729		
	学会発表	音楽演奏場面における参加者間の情報伝達過程	河瀬諭, 中村敏枝, 片平建史, 川上愛	2006年11月11日	平成18年度秋季研究発表会資料 Pp.51-56		

	指導教員	中村 敏枝	副指導教員	臼井 伸之介			
50	氏名	安田 晶子	研究室名	感性情報心理学	学年	DC 1 年次	
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究 —聴取者の情動との関係—	安田晶子・中村敏枝・河瀬諭・川上愛・片平建史・堀中康行・小幡哲史	2006年8月1日	日本認知心理学会第4回大会発表論文集 26.		
	学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究 —演奏音に対する聴取者の好悪と情動の観点から—	安田晶子・中村敏枝・河瀬諭・片平建史	2006年11月3日	日本心理学会第70回大会発表論文集 729.		
	学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究 —聴取者の情動および演奏音の音響的特性との関係—	安田晶子・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・堀中康行・小幡哲史	2006年9月25日	ヒューマンインタフェースシンポジウム2006 1205.		

	指導教員	中村 敏枝	副指導教員	臼井 伸之介			
51	氏名	元山千香	研究室名	感性情報心理学	学年	MC 2 年次	
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学会発表	聴覚情報が映像の認知に与える影響について	元山千香・中村敏枝・堀中康行	2006年12月2日	平成18年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集 pp.131-134		

	指導教員	中村 敏枝	副指導教員	臼井 伸之介			
52	氏名	堀中 康行	研究室名	感性情報心理学	学年	MC 2 年次	
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学会発表	BGMのマスキング効果-飲食店映像呈示による実験室的検討	堀中康行、中村敏枝、河瀬諭、片平建史、安田晶子、小幡哲史	2006年9月25日	2006年度ヒューマンインタフェース学会論文集、867-870		
	学会発表	BGMの効果についての実験室的検討	堀中康行、中村敏枝、小幡哲史、元山千香	2006年12月2日	平成18年度日本人間工学会 関西支部大会講演論文集 139-142		
	学会発表	飲食店におけるBGMの効果-店内騒音との関係についての検討	堀中康行、中村敏枝、河瀬諭、片平建史、川上愛、安田晶子、小幡哲史	2006年8月1日	日本認知心理学会第4回大会発表論文集 109		

社会学系 在籍者 回答者 研究成果 成果有の人数%  
 70人 26人 有 19 73%  
 回答者率 37% 無 7

指導教員	厚東 洋輔	副指導教員				
1 氏名	白石 真生	研究室名	理論社会学	学年	DC 3 年次	審査 有無
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等 報告	文化的シティズンシップと消費— —ポストモダンにおける包摂と 排除	白石真生	2006年12月28日	ポストナショナル・シティズンシップ—トラ ンスナショナルリティ研究		

指導教員	厚東 洋輔	副指導教員	太郎丸 博			
2 氏名	栢澤 健史	研究室名	社会環境学 理論社会学	学年	DC 2 年次	審査 有無
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	若年非正規雇用・無職と地域	栢澤健史	2007年3月3日	第43回数理社会学学会大会		

指導教員	太郎丸 博	副指導教員	牟田 和恵			
3 氏名	井出 草平	研究室名	理論社会学	学年	DC 1 年次	審査 有無
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	ひきこもり現象の類型その原因	井出草平	2006年11月28日	日本社会学会(自由報告)		

指導教員	太郎丸 博	副指導教員	友枝 敏雄			
4 氏名	安達 悟	研究室名	理論社会学	学年	MC 1 年次	審査 有無
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
書評	政治的資源としての法・権利と政治 変動	安達悟	印刷中	年報人間科学(印刷中)		

指導教員	太郎丸 博	副指導教員	友枝 敏雄			
5 氏名	赤枝 尚樹	研究室名	社会環境学	学年	MC 1 年次	審査 有無
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
書評	ゲーム理論の規範論理学的新 展開	赤枝 尚樹	印刷中	年報人間科学 28号(印刷中)		

指導教員	太郎丸 博	副指導教員	友枝 敏雄			
6 氏名	鵜飼洋一郎	研究室名	社会学理論	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	新卒大学生の就職活動における自己分析の成立	鵜飼洋一郎	2006年5月27日	(掲載なし)		
大学・研究所等報告	企業が煽る「やりたいこと」	鵜飼洋一郎	2007年3月1日	年報人間科学第28号(印刷中)		

指導教員	太郎丸 博					
7 氏名	宮田 尚子	研究室名	理論社会学	学年	研究生	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	職場への帰属意識と相談ネットワーク—組織適応期における複合的な相談ネットワークの効果—	宮田 尚子	2006年5月27日	第57回関西社会学会大会 報告要旨集p.24		
大学・研究所等報告	職場への帰属意識と相談ネットワーク—組織適応期における複合的な相談ネットワークの効果—	宮田 尚子	2007年3月末(予定)	大阪大学人間科学部 年報人間科学, 第28号(2007年)(印刷中).		
大学・研究所等報告(科研報告書)	地域愛着の規定要因に関する一考察—震災後に人が戻ってきたまちと、そうでないまちの比較から—	宮田 尚子	2007年3月末(予定)	平成16~19年度 科学研究費補助金 基盤研究(B)(1)課題番号16330112「新しいコミュニティの構想—東部被災地をフィールドとして—」(研究代表者 同志社大学社会学部教授 鵜飼孝造) 平成17年度実施「兵庫県民のコミュニティと生活に関する調査」報告書(印刷中)		

指導教員	木前 利秋	副指導教員	厚東 洋輔			
8 氏名	亀山俊朗	研究室名	社会環境学(現代社会学)	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
研究レビュー	『フリーター』『ニート』をめぐる研究動向	亀山俊朗	2006年6月1日	部落解放研究, 170, 83-88.		
学術論文	シティズンシップの変容と福祉社会の構想	亀山俊朗	2006年6月24日	福祉社会学研究 3, 東信堂, 85-104,		○
学会発表	シティズンシップと社会的排除	亀山俊朗	2006年6月25日	福祉社会学会第4回大会		
学術論文	フリーターの労働観	亀山俊朗	2006年12月10日	太郎丸博編『フリーターとニートの社会学』世界思想社, 144-167.		
学術論文・分担執筆	問題と議論の枠組み	太郎丸博・亀山俊朗	2006年12月10日	太郎丸博編『フリーターとニートの社会学』世界思想社, 1-29.		
学術論文・分担執筆	結論と今後の課題: どのような政策と研究が必要か	太郎丸博・亀山俊朗	2006年12月10日	太郎丸博編『フリーターとニートの社会学』世界思想社, 168-198.		
ワークショップ	シティズンシップと市民社会	亀山俊朗	2007年1月26日	大阪大学COEプログラム「トランスナショナルリティ研究」公開ワークショップ		
書評	熊沢誠『若者が働くときー「使い捨てられ」も「燃えつき」もせず』	亀山俊朗	2007年2月1日	部落解放研究, 174, 93-95.		

指導教員	木前 利秋	副指導教員	山中 浩二			
9 氏名	岡田 正	研究室名	社会環境学	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	ロラン・バルト「レッスルする世界」を読み解く	岡村正史(岡田正)	2006年8月30日	西日本スポーツ社会学会第1回大会		
学会発表	大衆文化としてのプロレスはいつ終焉したのか。	岡村正史(岡田正)	2007年3月27日	日本スポーツ社会学会第16回大会		
研究会発表	第二次UWF/前田日明に関する一般雑誌研究	岡村 正史(岡田正)	2006年11月11日	第27回プロレス文化研究会		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2006.7.1	岡村正史(岡田正)	研究会主宰 第26回プロレス文化研究会・岩佐敦子「プロレス国際比較序説—アメリカ、メキシコ、そして日本」	
2007.2.10	岡村正史(岡田正)	研究会主宰 第28回プロレス文化研究会・井上章一、亀井好恵「闘う少女のエロチシズム」	
2006.4~	岡村正史(岡田正)	連載記事「力道山からプロレスへ」(ブログ)第24回~第104回(2007.2.4現在)	Journalist Net

指導教員	川端 亮	副指導教員	太郎丸 博			
10 氏名	長松奈美江	研究室名	経験社会学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	仕事の自律性からみた雇用関係の変化	長松奈美江	2006年12月1日	社会学評論57(3): 476-92		

指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹			
11 氏名	阪口祐介	研究室名	経験社会学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	犯罪リスク知覚の規定構造 — 国際比較からみる日本の特殊性 —	阪口祐介	2006年5月28日	関西社会学会第57回大会論文集		

指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹			
12 氏名	永吉希久子	研究室名	先進経験社会学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
著書(共著)	フリーターの自己評価—フリーターは幸せか	永吉希久子	2006年12月10日	太郎丸博編、フリーター・ニートの社会学、世界思想社: 121-143		

指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮			
13 氏名	藤原 翔	研究室名	社会データ科学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	進路多様校1年生の「選択」—高校3年間の進路変容過程に関する継時的研究(1)—	○中村高康・○越智政治・片山悠樹・藤原翔・西田亜希子	2006年9月22日	日本教育社会学会第58回大会発表要旨集録55-58		

指導教員	牟田 和恵	副指導教員	Robert Scott North			
14 氏名	東 園子	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	女同士の絆の認識論 ——「女性のホモソーシャリティ」概念の可能性	東 園子	2006年3月	『年報人間科学』大阪大学大学院人間科学研究科社会学・人間学・人類学研究室、(27):71-85		○
学術論文	女同士の意味 ——「宝塚」から読み取られる女性のホモソーシャリティ	東 園子	2006年10月	『ソシオロジ』(157)91-107		○
学術論文	「ご主人様」のいない場所——男装コスプレ喫茶をめぐるジェンダー論的考察	東 園子	2007年1月	大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの人文科学」研究報告書2004-2006第5巻イメージとしての〈日本〉 131-151		
学会発表	女同士の意味 ——「宝塚」と女性のホモソーシャリティ	東 園子	2006年6月11日	日本女性学会大会		
学会発表	現代女性にとってのホモソーシャリティと異性愛——男装コスプレ喫茶をめぐる一試論	東 園子	2006年10月29日	日本社会学会大会一般研究報告		

	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	川端 亮					
15	氏名	堀江 有里	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	DC 3	年次		
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名				審査有無
	著書	「レズビアン」という生き方——キリスト教の異性愛主義を問う	堀江 有里	2006年9月20日	新教出版社				
	学術論文	セクシュアリティ研究の現在——〈性的指向〉概念を中心に	堀江 有里	2006年3月20日	花園大学人権教育研究センター編『ニッポンってなんやねん?——響きあう周縁文化と私』批評社、173-201頁。				
	学術論文	人権施策と〈性的少数者〉へのまなざし——日本におけるその非対称性を中心に	堀江 有里	2006年6月5日	仲正昌樹編『グローバル化する市民社会』御茶の水書房、85-113頁。				
	学術論文	交渉・妥協・共存する「ニーズ」——同性間パートナーシップの法的保障に関する当事者ニーズ調査から	有田啓子・藤井ひろみ・堀江有里	2006年11月30日	日本女性学研究会『女性学年報』第27号、4-28頁。				○
	学術論文	“Possibilities and Limitations of ‘Lesbian Continuum’: The Case of a Protestant Church in Japan”	Horie, Yuri	2006年12月30日	Journal of Lesbian Studies, 10 (3/4), New York: Haworth Press, pp. 145-159.				○
	学術論文	“Possibilities and Limitations of ‘Lesbian Continuum’: The Case of a Protestant Church in Japan”	Horie, Yuri	2006年12月30日	Khor, Dianna and Saori Kamano eds., “Lesbian” in East Asia: Diversity, Identities, and Resistance, New York: Haworth Press.				○
	学術論文	日本社会におけるレズビアンのか実践——社会運動論的位置づけをめぐって	堀江 有里	2007年3月20日	花園大学人権教育研究センター『人権教育研究』第15号(印刷中)。				
	学術論文	性的少数者の身体と国家の承認——「性同一性障害・特例法」をめぐって	堀江 有里	2007年3月31日	日本解放社会学会『解放社会学研究』第21号(印刷中)。				○
	翻訳	イマジナリーな領域——中絶、ポルノグラフィ、セクシュアル・ハラスメント	仲正昌樹監訳・遠藤かおり・高原幸子・堀江有里訳	2006年2月10日	御茶の水書房(Cornell, Drucilla, 1995, <i>The Imaginary Domain: Abortion, Pornography and Sexual Harassment</i> , Routledge.)				
	学会発表	性的少数者の身体と国家の承認——「性同一性障害・特例法」をめぐって	堀江 有里	2006年3月21日	日本解放社会学会・第22回大会(2006年03月21-22日、於・龍谷大学、テーマ部会「制度とセクシュアリティ」)。				
	学会発表	キリスト教における〈脱-異性愛主義〉の可能性——当事者運動の視点から	堀江 有里	2006年6月4日	「宗教と社会」学会・第14回学術大会(2006年06月03-04日、於・同志社大学、パネルセッション:「ジェンダーで学ぶ宗教学」の可能性)。				
	学会発表	性的指向の越境可能性——〈レズビアン〉という名づけをめぐる諸問題	堀江 有里	2006年7月1日	カルチュラル・タイフーン in 下北沢(2006年07月01-02日、於・下北沢成徳高等学校、パネルセッション:女性の快楽——セクシュアリティ・嗜癖・資本)。				
	学会発表	“Lesbian Existence in Protestantism: A Case Study of the United Church in Canada and Japan”	Horie, Yuri	2006年7月27日	International Conference on LGBT Rights: 1st World Outgames Montreal 2006 (Montreal, Canada), 26-29 July, 2006, [Workshop: Multifaceted Lesbian Lives in Japan Today].				○
	大学・研究所等報告	「罪」とは?——同性愛者排除論理に内包される「罪」概念	堀江 有里	2006年5月3日	日本基督教団京都教区性差別問題特設委員会編『聖書はおもしろい』第3巻、42-56頁。				
	大学・研究所等報告	セクシュアル・ハラスメントについて	堀江 有里	2006年6月20日	花園大学人権教育研究委員会・発行(花園大学人権教育資料シリーズNo.20)。				
	大学・研究所等報告	教会と葛藤しつつ、信仰を問う——同性愛者とキリスト教(上)(下)	堀江有里・川田岳郎・飯野由里子	2006年10月15日、2006年11月15日	座談会・記録。オンラインマガジン『Sexual Science』2006年10月号、11月号。 (http://www.medical-tribune.co.jp/ss/index.html)				
	大学・研究所等報告	モントリオール旅行記——第一回LGBT国際人権会議に参加して	堀江 有里	2006年10月15日	『福音と世界』2006年11月号、新教出版社、12-17頁。				
	大学・研究所等報告	オキナワ——そこにある“日常”を想像すること	堀江 有里	2006年11月20日	『花園大学人権教育研究センター報』第10号(通巻29号)。				
	大学・研究所等報告	他者を吊うこと——同性愛者の“現場”から	堀江 有里	2006年3月31日	同志社大学キリスト教文化センター編『チャペル・アワー奨励集』(印刷中)。				

指導教員	牟田 和恵	副指導教員	山中 浩司			
16 氏名	白岩優姫	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
大学・研究所等報告	書評 性差の科学への挑戦	白岩優姫	2007/3/	大阪大学人間科学研究科年報(印刷中)		

指導教員	山中 浩司	副指導教員	吉川 徹			
17 氏名	竹田恵子	研究室名	文化社会学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	生殖技術受診時に表出する身体観の相互作用	竹田恵子	2007年3月(印刷中のため出版日は未定)	質的心理学研究, 6.(掲載ページ数未定)		○
学会発表	生殖技術の拒否と受容—ART受診者の「抵抗感」に影響を与える二つのイデオロギー	竹田恵子	2006年5月14日	第32回日本保健医療社会学会大会		
学会発表	生殖医療における各種医療従事者の役割分担—胚培養士の登場が与える影響	竹田恵子	2006年5月27日	第57回日本保健医療社会学会大会		
学会発表	生殖技術受診時に表出する身体観の相互作用	竹田恵子	2006年8月5日	第3回質的心理学学会大会		

指導教員	山中 浩司	副指導教員	牟田 和恵			
18 氏名	竹内 慶至	研究室名	文化社会学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	『医療現場と情報技術 —看護師と電子カルテシステム』	竹内 慶至	2006年5月27日			

指導教員	Robert Scott North	副指導教員	牟田 和恵			
19 氏名	岡田トリシャサラザル	研究室名	人間科学研究科社会環境	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	What is Takarazuka Revue in the Eyes of Non-Japanese Fans?	岡田トリシャサラザル	2006年12	Journal of Asian Women's Studies, Kitakyushu Forum on Asian Women, volume 15, pages 122-126		
学会発表	Beauty and Performance as Perceived by the Non-Japanese Fans of the Takarazuka Revue	岡田トリシャサラザル	2006年8月2日	International Association of Intercultural Communication Studies (IAICS), San Antonio, Texas, USA		
学会発表	The Non-Japanese Fans' Perception of the Takarazuka Revue	岡田トリシャサラザル	2007年4月1日	Annual Asian Cultural Studies Association (ACSA) Conference New Old Worlds: The Changing Faces of Asia, Assumption University, Bangkok, Thailand		

人間学系 在籍者 回答者 研究成果 成果有の人数%  
 50人 14人 有 7 50%  
 回答者率 28% 無 7

指導教員	中山 康雄	副指導教員	檜垣 立哉			
1 氏名	池吉 琢磨	研究室名	論理科学・科学基礎論	学年	DC 1 年次	審査 有無
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	事実に知識と遂行的知識の区別	池吉琢磨・中山康雄	2006年6月18日	科学基礎論学会2006年度総会と講演会・発表要旨集 34-35.		
学術論文	思考についての哲学的探求—ギルバート・ライルの観点から—	池吉琢磨・中山康雄	2007年 3月	人間科学研究科紀要第33巻、pp. 21-38.		
学術論文	『心の概念』再考—公式教義とは何だったのか—	池吉琢磨	2007年 3月	年報人間科学第28号(2007)		○

指導教員	中山 康雄	副指導教員	檜垣 立哉			
2 氏名	手塚 知訓	研究室名	論理科学	学年	MC 1 年次	審査 有無
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	心の科学における一人称権威の位置づけ	手塚知訓・中山康雄	2006年	日本認知科学会第23回大会発表論文集、		
書評	クオリア嫌いのいま	手塚知訓	2007年	年報人間科学		

指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	菅野 楯樹			
3 氏名	近藤 和敬	研究室名	基礎人間学	学年	DC 2 年次	審査 有無
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	言語音の機能的生成	菅野楯樹／近藤和敬	2007年3月1日	大阪大学人間科学研究科紀要第33巻、39-77.		
学術論文	カヴァイエスにおける構成の空間	近藤和敬	2006年7月1日	現代思想、7月号、青土社		
学術論文	カヴァイエスの数学の哲学	近藤和敬	H18.9.1	フランス哲学思想研究第11号、日仏哲学会		
学会発表	科学理論における意味と作用の双対性について	近藤和敬	2006年5月20日	日本哲学会		
分担翻訳	『生命倫理百科辞典』の「古代」担当	ソノ他多数、近藤和敬	2007年一月	『生命倫理百科辞典』、丸善出版社		

指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	菅野 楯樹			
4 氏名	山森 裕毅	研究室名	基礎人間学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	ドゥルーズにおけるアルト―概念の使用について―無能力の観点から―	山森裕毅	2006年9月9日			
大学院GPIによるセミナー	アントナン・アルト―/幼児と死体の身体論	司会 山森裕毅	2006年10月30日			

指導教員	Schentker Wolfgang	副指導教員	檜垣 立哉			
5 氏名	寺田 晋	研究室名	文明動態学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	群集の時代における世論——20世紀初頭の日本における議論から	寺田 晋	2006年10月21日	社会思想史学会第31回大会報告集 77-82		
学会発表	Public Spheres in Prewar Japan	寺田 晋	2006年11月10日	International Sociology Conference in East Asia		

指導教員	中川 敏	副指導教員	春日 直樹			
6 氏名	竹村 嘉晃	研究室名	人類学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	鉄道が運ぶローカル神——南インド・ケーララ州の儀礼パフォーマンスの事例から	竹村嘉晃	2006年5月27日	第22回民族芸術学会全国大会(沖縄:沖縄県立芸術大学)		
学会発表	神霊を「表象」する権利は誰にあるのか?——南インド・ケーララ州のテイヤム儀礼からの試論	竹村嘉晃	2006年6月17日	第8回舞踊学会定例研究会(埼玉:早稲田大学)		
学術論文	神々のゆくえ——現代インド・ケーララ社会における儀礼パフォーマンスの多元的表象	竹村嘉晃	2007年3月予定	民族芸術、23号(印刷中)		
大学・研究所等報告	「アニヤラ」から「カクテル・パーティー」へ——海外に登場するインドの儀礼パフォーマンス	竹村嘉晃	2007年3月予定	大阪大学21世紀COEプログラム『トランスナショナルリティ研究』報告書(印刷中)		

指導教員	春日 直樹	副指導教員	中川 敏			
7 氏名	藤澤 冬詩	研究室名	人間と文化	学年	DC 3 年次	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2006.12	藤澤 冬詩	お祭り、行事に見る信仰とアイデンティティ	『地球の歩き方オース'07~08』

教育学系

在籍者 回答者 研究成果 成果有の人数%  
 133人 55人 有 37 67%  
 回答者率 41% 無 18

指導教員	藤川 信夫	副指導教員	木村 涼子			
1 氏名	森岡 次郎	研究室名	教育人間学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	「新優生学」と教育の類縁性と背反	森岡 次郎	2006年5月10日	『教育哲学研究 第93号』教育哲学会 102-121頁		○
学術論文	「受動的」な未来予測から「能動的」な価値の提示へ	森岡 次郎	2006年9月17日	『近代教育フォーラム 第15号』教育思想史学会 71-79頁		○

指導教員	藤川 信夫	副指導教員	志水 宏吉			
2 氏名	國崎 大恩	研究室名	教育人間学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	自然と文化、あるいはその裂け目～デューイの経験概念における「言葉のきらめき」～	國崎 大恩	2006年10月1日	日本デューイ学会 第50回記念大会		
学会発表	教育における「無言の質」をめぐって ～デューイ思想から見た今日の教育学研究が孕む問題	國崎 大恩	2006年10月15日	教育哲学会 第49回大会		

指導教員	藤岡 淳子	副指導教員	中谷 素之			
3 氏名	川俣 英之	研究室名	教育心理学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	小学生における問題行動の規定要因(1)-問題行動の発生プロセスの検討-	川俣英之・大久保智生	2007年9月16日	日本教育心理学会第48回大会発表論文集		
学会発表	小学生における問題行動の規定要因(2)-各問題行動の規定要因の検討-	川俣英之・大久保智生	2007年10月8日	日本パーソナリティ心理学会第15回大会論文集		

指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	内海 成治			
4 氏名	中野 由章	研究室名	教育システム工学	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	「教育用プログラミング言語に関するワークショップ2006」の報告	並木美太郎, 中野由章, ほか	2006年7月	情報処理学会研究報告 Vol.2006, No.74		
学術論文	高校専門教科「情報」の現状と課題	中野由章	2006年8月	情報処理学会シンポジウムシリーズ Vol.2006, No.8		○
学術論文	教育行政の視座における教科「情報」と教員採用に関する検討	中野由章	2006年10月	情報処理学会研究報告 Vol.2006, No.108		

指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	老松 克博			
5氏名	佐野 彰	研究室名	教育システム工学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
著書(分担執筆)	Wikiによるe-Learning/学習ネットワーク	佐野彰 など	2007年出版予定	ナカニシヤ出版		
学会発表	Wikiを活用した実践の現状と改善案	佐野彰	2006年11月3日	日本教育工学会第22回全国大会		
論文	wikiを活用した学習実践	佐野彰	2006年10月1日	社団法人私立大学情報教育協会機関誌「大学教育と情報」2006 Vol.15 No.2(通巻115号)		○
学会発表	Wikiを用いた学部サイトの運営	佐野彰	2006年9月5日	社団法人私立大学情報教育協会 大学教育・情報戦略大会		
学会発表	wikiの実践への応用	佐野彰	2006年9月2日	JSISE関西支部若手研究者フォーラム 第14回発表会		
学会発表	wikiを用いた、サステナビリティを重視したサイト運営	佐野彰	2006年7月1日	全国大学IT活用教育方法研究発表会		○

指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	平沢 安政			
6氏名	辻岡 圭子	研究室名	臨床教育学専攻教育工学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会研究会発表	遠隔授業による実践的英語教育—テレビ会議システムの利用—	辻岡圭子	2006年7月15日	大学英語教育学会関西支部第2回英語教育総合研究会		
学会発表	遠隔講義による国際理解教育(その2)—異文化間コミュニケーション能力育成のためのTV会議システムの活用	辻岡圭子・室岡義勝・岩居弘樹・前迫孝憲・松河秀哉・重田勝介	2006年11月3日	日本教育工学会第22回全国大会講演論文集 299-300		
学会研究報告	超鏡(HyperMirror)を活用した第二言語学習—協調学習による異文化間コミュニケーション能力向上への取り組み—	辻岡圭子・前迫孝憲・森川治	2007年1月27日	教育システム情報学会研究報告 Vo.1. 21, no.5 (2007-1) pp. 9-16		
学会研究会発表	遠隔講義による異文化間コミュニケーション—学習者の不安要因に関する質的分析—	辻岡圭子・前迫孝憲・室岡義勝	2007年3月3日	日本教育工学会研究報告書JEST 07-1 印刷中		
国際学会発表	Second Language Teaching in Multi-cultural Settings: Using HyperMirror with Reflective Images	辻岡圭子・前迫孝憲・森川治	2007年3月30日	AACE (Association for the Advancement of Computing in Education) Society for Information Technology & Teacher Education 18th International Conference Brief Paper 印刷中		○

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007年3月	日米遠隔プロジェクト	時事通信社賞	マイタウンマップ・コンクール実行委員会 (財)情報処理教育研修助成財団

指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	老松 克博			
7 氏名	奥林 泰一郎	研究室名	教育工学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	「超鏡」における映像遅延の影響	重田勝介・中澤明子・松河秀哉・奥林泰一郎・三原勉・船田武志・大澤政寛・前迫孝憲・森川治	2006年11月1日	ヒューマンインターフェイス学会誌, 8(4), 509-514.		○
学会発表	国際交流学習に至るまでの実践校との連絡調整とその課題	奥林泰一郎、重田勝介、中澤明子、前迫孝憲	2006年11月3日	日本教育工学会第22回全国大会講演論文集、489-490.		
学会発表	「超鏡」における映像遅延の影響	重田勝介・中澤明子・松河秀哉・奥林泰一郎・三原勉・船田武志・大澤政寛・前迫孝憲・森川治	2006年11月3日	日本教育工学会第22回全国大会講演論文集、295-296.		
学会発表	「超鏡」の研修におけるWebサイト利用の効果	中澤明子・重田勝介・奥林泰一郎・前迫孝憲	2006年11月3日	日本教育工学会第22回全国大会講演論文集、297-298.		
学会発表	幼児期における「保育の質」についての一検討～子どもと保育者や親とのかかわり	奥林泰一郎	2006年5月20日	日本保育学会第59回大会発表論文抄録		

指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	内海 成治			
8 氏名	森 秀樹	研究室名	教育工学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	コンピュータと身近な材料を使ったものづくりワークショップの実践	森秀樹	2006年5月27日	日本教育工学会研究報告集 メディアと子ども 39-42		
学会発表	Learning Art Project-Cultivating Learning Sensibilities-	Nobuyuki Ueda・Yoshiro Miyata・Hideki Mori・Yasushi Harada・Yuuka Sato・Ryoko Matsumoto	2006年7月4日	THE THIRD INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON CHILD DEVELOPMENT		
学会発表	ワークショップ実践家養成の試み(2)	上田信行・松本亮子・森秀樹	2006年11月5日	日本教育工学会第22回全国大会論文集 1027-1028		

	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	山本 隆			
9	氏名	岡本 尚子	研究室名	教育工学	学年	MC	2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学術論文	立体構成課題における前頭前野の酸素消費の特徴について	岡本尚子・江田英雄・山内留美・前迫孝憲・小池敏英・黒田恭史	2006年6月1日	臨床脳波, Vol.48 no.6-2006/6:101-107		○
	学術論文	脳科学の数学教育への応用の可能性とその限界	黒田恭史・岡本尚子	2006年12月20日	数学教育学会誌Vol.48 No.1・2:37-44		○
	大学・研究所等報告	逆思考課題遂行時における学習過程の特徴 -ヘモグロビン濃度変化のマッピングを通して-	黒田恭史・岡本尚子	2007年3月14日(予定)	佛教大学教育学部論集, 18:(印刷中)		
	学会発表	脳内ヘモグロビン濃度を指標とした「学習マップ」の開発	黒田恭史・岡本尚子・山内留美	2006年6月9日	教育システム情報学会研究報告vol.21, no1:11-18		
	学会発表	加法課題遂行時における脳内ヘモグロビン濃度変化の特徴について	岡本尚子・山内留美・黒田恭史・前迫孝憲	2006年6月9日	教育システム情報学会研究報告vol.21, no.1:19-24		
	学会発表	加法・乗法遂行時における脳内ヘモグロビン濃度変化の差異について	岡本尚子・黒田恭史	2006年6月25日	数学教育学会夏季研究会発表論文集, 1-6		
	学会発表	通信教育課程における数学科目のweb履修システムの構築とその実際	黒田恭史・岡本尚子	2006年9月19日	数学教育学会秋季例会発表論文集, 34-36		
	学会発表	計算課題と図形課題遂行時における小学生の脳内ヘモグロビン濃度変化の特徴	黒田恭史・岡本尚子	2006年9月19日	数学教育学会秋季例会発表論文集, 37-39		
	学会発表	加法課題遂行時における小学生の脳内ヘモグロビン濃度変化の特徴	岡本尚子・黒田恭史	2006年9月19日	第10回数学教育学会大学院生部会発表論文集:13-18		
	学会発表	コストパフォーマンスからみた高等教育におけるe-Learningの可能性	黒田恭史・岡本尚子・西之園晴夫	2006年11月3日	日本教育工学会第22回全国大会講演論文集:99-102		
	学会発表	脳内生体情報活用による教育工学研究の実際と可能性	岡本尚子・黒田恭史・前迫孝憲	2006年11月3日	日本教育工学会第22回全国大会講演論文集:277-278		
	学会発表	多様な学習ニーズに応じた高等教育におけるe-Learningの可能性	黒田恭史・岡本尚子・西之園晴夫	2006年11月12日	日本教育実践学会第9回研究会発表論文集:81-82		
	学会発表	生体情報を用いた学習過程の分析 -ブルームの「タキシノミー」を手がかりにして-	黒田恭史・岡本尚子	2006年12月16日	日本教育工学会研究報告集JSET06-6:147-150		
	学会発表	計算課題遂行時の前頭前野におけるマッピング -ヘモグロビン濃度を指標として-	岡本尚子・黒田恭史・前迫孝憲	2006年12月16日	日本教育工学会研究報告集JSET06-6:151-154		
	学会発表	加法筆算と虫食い算遂行時における脳内ヘモグロビン濃度変化の特徴 -小学校第5学年を対象として-	黒田恭史・岡本尚子	2006年3月27日	数学教育学会春季年会発表論文集:(印刷中)		
	学会発表	ブレンディッド型通信教育における学習効果について -年齢別学習状況の比較をとおして-	岡本尚子・黒田恭史	2006年3月27日	数学教育学会春季年会発表論文集:(印刷中)		

指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	臼井 伸之介 (先端人間科学講座)			
10 氏名	重田 勝介	研究室名	コミュニケーションメディア	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	「超鏡」における映像遅延の影響	重田勝介、中澤明子、松河秀哉、 奥林泰一郎、三原 勉、船田武志、 大澤政寛、前迫孝憲、森川 治	2006年11月1日	ヒューマンインタフェース学会誌 Vol8, No4, 2006		○
学会発表	「超鏡」における映像遅延の影響	重田勝介、中澤明子、松河秀哉、 奥林泰一郎、三原 勉、船田武志、 大澤政寛、前迫孝憲、森川 治	2006年8月24日	教育システム情報学会第31回全国大会 講演論文集		
学会発表	「超鏡」における映像遅延の影響	重田勝介、中澤明子、松河秀哉、 奥林泰一郎、三原 勉、船田武志、 大澤政寛、前迫孝憲、森川 治	2006年11月3日	日本教育工学会 第22回全国大会講演論 文集		
学会発表	「超鏡」の研修におけるWebサイト利用の効果	中澤明子、重田勝介、奥林泰一郎、前迫孝憲	2006年11月3日	日本教育工学会 第22回全国大会講演論 文集		
学会発表	遠隔講義による国際理解教育(その2)	辻岡圭子、室岡義勝、岩居弘樹、 前迫孝憲、松河秀哉、重田勝介	2006年11月3日	日本教育工学会 第22回全国大会講演論 文集		
学会発表	国際交流学習に至るまでの実践校との連絡調整とその課題	奥林泰一郎、重田勝介、中澤明子、前迫孝憲	2006年11月3日	日本教育工学会 第22回全国大会講演論 文集		

指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	宮田 敬一 (先端人間科学講座)			
11 氏名	中澤 明子	研究室名	コミュニケーションメディア	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	「超鏡」における映像遅延の影響	重田勝介・松河秀哉・中澤明子・前迫孝憲	2006年8月25日	教育システム情報学会第31回全国大会公 演論文集pp.467-468		
学術論文	「超鏡」における映像遅延の影響	重田勝介・中澤明子・松河秀哉・奥林泰一郎・三原勉・船田武志・大澤政寛・前迫孝憲・森川治	2006年11月1日	ヒューマンインターフェース学会論文 誌,8(4) pp.509-514.		○
学会発表	「超鏡」における映像遅延の影響	重田勝介・中澤明子・松河秀哉・奥林泰一郎・三原勉・船田武志・大澤政寛・前迫孝憲・森川治	2006年11月3日	日本教育工学会第22回全国大会講演論 文集 pp.295-296		
学会発表	「超鏡」の研修におけるWebサイト利用の効果	中澤明子・重田勝介・奥林泰一郎・前迫孝憲	2006年11月3日	日本教育工学会第22回全国大会講演論 文集 pp.297-298		
学会発表	国際交流学習に至るまでの実践校と連絡調整とその課題	奥林泰一郎・重田勝介・中澤明子・前迫孝憲	2006年11月3日	日本教育工学会第22回全国大会講演論 文集 pp.489-490		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007年2月	日米遠隔プロジェクト	第13回マイタウンマップ・コンクール 時事通信社賞	マイタウンマップ・コンクール事務局

指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修			
12 氏名	金沢 晃	研究室名	臨床心理学講座	学年	DC 3 年次	審査 有無
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
著書(分担執筆)	カウンセリング・ガイドブック	倉光修・桑原知子編 金沢晃・	2007年3月1日	岩波書店		
学会発表	Psychological Problems of Japanese-Koreans-Adolescents whose mothers are Recent Immigrants-	金沢 晃	2007年7月19日	7th World Conference for Person-Centered and Experiential Psychotherapy and Counseling		
学術論文	在日韓国/朝鮮人をとりまく外的世界とその内的対象関係	金沢 晃	2007年3月1日	臨床心理身体運動学研究		○

指導教員	老松 克博	副指導教員	宮田 敬一			
13 氏名	桜井 利行	研究室名	臨床心理学	学年	DC 3 年次	審査 有無
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	ひきこもる若者がサポートグループに参加する過程	桜井 利行	2006年11月3日	日本心理学会第70回大会発表論文集 313.		

指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修			
14 氏名	赤松 尚美	研究室名	臨床心理学	学年	DC 2 年次	審査 有無
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	「統合失調症」と診断された高校生との面接過程-家庭訪問をとおして	赤松 尚美	2006年9月17日	日本心理臨床学会第25回大会論文集 198		

指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修			
15 氏名	山本 典子	研究室名	臨床教育学講座	学年	DC 1 年次	審査 有無
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	児童養護施設で生活する小学生女兒とのプレイセラピー	山本典子	2006年12月1日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要, 12, 45-53		

指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修			
16 氏名	東井 申雄	研究室名	臨床心理学	学年	MC 2 年次	審査 有無
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	筋ジストロフィー病棟におけるケース・カンファレンスのこころみ	井村修・藤村晴俊・齊藤利雄・松村剛・畠田和久・枝松茂利・成田慶一・梁誠崇・中田果林・原三恵・東井申雄・西川佳織・山本真莉・高田紗英子・神野進	2006年11月29日	筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究平成18年度班会議プログラム・抄録集		
分担執筆	筋ジストロフィー病棟における看護師のJob Identityに関する問題(第二報)	井村修・藤村晴俊・成田慶一・梁誠崇・東井申雄・山本真莉・畠田和久・齊藤利雄・松村剛・神野進	2006年11月29日	筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究平成18年度班会議プログラム・抄録集		

指導教員	井村 修	副指導教員	宮田 敬一	老松 克博			
17 氏名	梁 誠崇	研究室名		臨床心理学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無	
学会発表	自殺遺族をめぐるサポートグループ実践的モデル構築の試み	梁誠崇	2006年3月10日	日本トラウマティック・ストレス学会第5回大会抄録集, 73			
講演	筋ジストロフィー患者の心理支援に向けて	梁誠崇	2006年6月25日	第34回日本筋ジストロフィー協会大阪支部大会(大阪市立長居障害者スポーツセンター)			
学会発表	自殺遺族支援“者”を考える	梁誠崇	2006年6月25日	第14回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会シンポジウム『自死遺族支援を考える』話題提供			
学会発表	筋ジストロフィー患者の親の問題意識	梁誠崇	2006年9月16日	日本心理臨床学会第25回大会 自主シンポジウム『筋ジストロフィーの療養をめぐる臨床心理学的アプローチ』話題提供			
学会発表	障害児をもつ親のサポートグループにおけるサポート機能に関する一考察	梁誠崇・井村修	2006年9月29日	リハビリテーション心理学会韓国大会 口頭発表			
学会発表	筋ジストロフィー患者をもつ親のソーシャルサポートとその満足感	梁誠崇・中田果林・井村修・藤村晴俊ら	2006年11月30日	厚生労働省科学研究費委託『筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究』平成18年度班会議(班長 神野進) 全共連ビル本館			
学会発表	1年目看護師のJob Identityの獲得プロセスについて	成田慶一・梁誠崇・井村修・藤村晴俊ら	2006年11月30日	厚生労働省科学研究費委託『筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究』平成18年度班会議(班長 神野進) 全共連ビル本館			
学会発表	筋ジストロフィー病棟におけるケース・カンファレンスのこころみ	井村修・藤村晴俊・斉藤利雄・梁誠崇ら	2006年11月30日	厚生労働省科学研究費委託『筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究』平成18年度班会議(班長 神野進) 全共連ビル本館			
大学・研究所等報告	筋ジストロフィー患者に対する心理的援助の研究(1)	梁誠崇・谷口弘恵・成田慶一・中田果林・原三恵・東井申雄・西川佳織・井村修	2006年12月1日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要, 12, 67-73			
講演	発達障害を有する学生への配慮—臨床心理学の立場から	梁誠崇	2006年12月13日	第4回大阪大学障害学生支援室セミナー(大阪大学豊中キャンパス)			
学会発表	筋ジストロフィーをもつ親の心理的問題に関する探索的研究: 自由記述の分析から	梁誠崇・井村修・西川佳織	2007年3月24日	日本発達心理学会第18大会 ポスターセッション(抄録集印刷中)			

指導教員	井村 修	副指導教員	老松 克博			
18 氏名	村田 直子	研究室名		臨床心理学	学年	DC 1 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
大学・研究所等報告	父親によるドメスティック・バイオレンスにさらされてきた12歳女兒との面接過程	村田直子	2006年12月1日	大阪大学人間科学研究科心理教育相談室紀要, 12, 34-44.		○

指導教員	井村 修	副指導教員	宮田 敬一			
19 氏名	高橋 暁彦	研究室名		臨床心理学	学年	MC 2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
大学・研究所等報告	乳児期に母親から身体的虐待を受けた男児との養護施設でのプレイセラピー(仮)	高橋 暁彦	2006年12月	大阪大学人間科学研究科心理教育相談室紀要, 12, 56-64		

	指導教員	西澤 哲	副指導教員	井村 修			
20	氏名	西川 佳織	研究室名	臨床心理学	学年	MC	2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	班会議発表	筋ジストロフィー患者をもつ親のソーシャルサポートとその満足感	井村修・藤村晴俊・梁誠崇・西川佳織・中田果林・高田紗英子・山本真莉・斎藤利雄・松村剛・神野進	2006年11月30日	筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究 平成18年度班会議プログラム・妙録集 68		
	班会議発表	筋ジストロフィー病棟におけるケース・カンファレンスのこころみ	井村修・藤村晴俊・斎藤利雄・松村剛・畠田和久・枝松茂利・成田慶一・梁誠崇・中田果林・原三恵・東井申雄・西川佳織・山本真莉・高田紗英子・神野進	2006年11月30日	筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究 平成18年度班会議プログラム・妙録集 69		

	指導教員	井村 修					
21	氏名	由井理亜子	研究室名	臨床心理学	学年	研究生	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2006.10.		理事を務めるNPO法人子どもの心理療法支援会の活動が紹介された。	京都新聞
2006.12.			朝日新聞

	指導教員	井村 修	副指導教員	宮田 敬一			
22	氏名	山本 真莉	研究室名	臨床心理学	学年	MC	1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学会発表	筋ジストロフィー患者を持つ親のソーシャルサポートとその満足感	梁誠崇・西川佳織・中田果林・高田紗英子・山本真莉・斎藤利雄・松村剛・神野進	2006年11月30日	筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究		
	学会発表	筋ジストロフィー病棟におけるケースカンファの試み	梁誠崇・西川佳織・中田果林・高田紗英子・山本真莉・斎藤利雄・松村剛・神野進・畠田和久・枝松茂利・成田慶一	2006年11月30日	筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究		
	学会発表	筋ジストロフィー病棟における看護師のJob Identityに関する問題	成田慶一・東井申雄・山本真莉・斎藤利雄・松村剛・神野進・畠田和久	2006年11月30日	筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究		

指導教員	近藤 博之	副指導教員	中村 高康			
23 氏名	古田 和久	研究室名	教育社会学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	奨学金政策と教育機会の動向	古田 和久	2006年9月	教育学研究, 第73巻, 第3号, pp.207-217		○
学会発表	データマイニング手法による教育意識の探索的分析	古田 和久	2006年9月22日	日本教育社会学会第58回大会発表要旨収録, pp.15-16		

指導教員	近藤 博之	副指導教員	中村 高康			
24 氏名	川村 光	研究室名	教育社会学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
大学・研究所等報告	公立小中学校教員による「総合的な学習の時間」の実施状況(第一次報告)―「総合的な学習の時間」の導入と学校文化・教師文化の変容に関する調査研究(Ⅲ)―	紅林伸幸・川村光・越智康詞	2006年3月15日	信州大学教育学部紀要, 117, 171-182.		
大学・研究所等報告	大学生の生活と意識に関する調査報告―不確かさを生きる若者たち―	紅林伸幸・川村光	2006年3月	滋賀大学教育学部紀要(Ⅱ:人文科学・社会科学), 55, 55-67.		
大学・研究所等報告	変動期における学校と地域―小・中学校教員対象質問紙調査をもとに―	金子真理子・川村光	2006年3月	『教育課程編成をめぐる行政・学校・地域のダイナミクス―地方分権化施策の実態―』平成15年度～平成17年度 科学研究費補助金[基盤研究(B)]研究成果報告書(代表者 陣内靖彦), 67-84		
学会発表	「総合的な学習の時間」が描いた学校改革―その理想と現実―	紅林伸幸・越智康詞・川村光	2006年9月22日	日本教育社会学会第58回大会発表要旨集録, 103-108.		

指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子			
25 氏名	今井 貴代子	研究室名	生涯教育学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
大学・研究所等報告	第8章 高校を生きるニューカマー生徒―聴き取り調査から	今井貴代子	2006年4月	『ニューカマー児童生徒の就学・学力・進路の実態把握と環境改善に関する研究(その1)』平成17～19年度科学研究費補助金研究成果報告書(研究代表 志水宏吉), 125-135.		
学会発表	在日外国人の学習ニーズと支援に関する一考察	今井貴代子	2006年9月	日本社会教育学会第53回大会発表要旨収録 112.		
学会発表	高校を生きるニューカマー―「自己の物語」にみられる資源と戦略	志水宏吉・中島智子・新保真紀子・今井貴代子・石川朝子・棚田洋平・山本晃輔	2006年9月	日本教育社会学会第58回大会発表要旨収録 181-186.		
学術論文	在日外国人の学習ニーズと生活状況に関する考察	今井貴代子	2007年3月	大阪大学教育学年報第11号(印刷中)		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2007年1月	今井貴代子	「同和教育論」の教室から①“日常から「境界」のゆらぎをみつめる	月刊ヒューマンライツ

	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子			
26	氏名	鳥越 ゆい子	研究室名	生涯教育学	学年	DC 3 年次	
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学会発表	「総合的な学習の時間」における教師と子どもの相互作用－ある中学校のフィールドワークから	鳥越ゆい子	2006年9月23日	日本教育社会学会第58回大会発表要旨集録 371-372		○
	学術論文	教師の教育行為に因る「学校」の一考察	鳥越ゆい子	2007年3月31日	大阪大学人間科学部『教育学年報』第11号(印刷中)		

	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子			
27	氏名	森 由香	研究室名	生涯学習論	学年	DC 3 年次	
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学術論文	「学校施設の社会教育的使用にかかる事業に関する一考察」	森由香	2007年3月(予定)	大阪大学教育学年報第12号		○

	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子	志水 宏吉		
28	氏名	日浦 直美	研究室名	生涯教育学	学年	DC 3 年次	
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学術論文	幼児期の多文化・多様性教育に関する一考察: 幼児の前偏見の言動に対する「相互的方法」の民俗誌的分析	日浦直美	2006年12月25日	乳幼児教育学研究 第15号 .65-83		○
	学会発表	幼児の可視的差異に対する拒否的反応と保育者の対応の検討－寛容性(Tolerance)の涵養の視点から－	日浦直美	2006年 5月21日	日本保育学会第58回大会論文集 496-497		
	大学・研究所等報告	保育における思いやり志向に関する考察(Ⅱ): 「集団」の捉え方を視点として	日浦直美	2006年12月20日	聖和大学論集 第34号A 143-153		

	指導教員	平沢 安政	副指導教員				
29	氏名	北山 夕華	研究室名	生涯教育学	学年	DC 1 年次	
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学術論文	Learning in Community	Yuka Kitayma	2005年9月22日	citizED http://www.citized.info/?strand=5&r_menu=cres		
	学会発表	イギリスの市民性教育－ヨークでのフィールド調査から－	北山夕華	2006年9月23日	日本教育社会学会第58回大会		
	エッセイ	いまシティズンシップを考える－イギリスの市民性教育の現場から－	北山夕華	2007年3月10日	ヒューマンライツ		

	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子			
30	氏名	赤尾 勝己	研究室名	生涯教育学	学年	DC 1 年次	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学術論文	社会教育における講座・学級プログラム計画理論に関する研究動向—市民参加の視点から—	赤尾勝己	2006年8月1日	関西大学文学論集第56巻第1号、67-91.		○
	学術論文	生涯学習関連施設における市民企画講座会議に関する理論枠組み—公募型市民企画講座会議の事例と関連させて—	赤尾勝己	2006年9月1日	日本学習社会学会年報第2号、82-87.		
	国際会議報告	Citizen-Participated Program Planning System in the Lifelong Learning Facilities in Japan	AKAO Katsumi	Sep.30,2006	International Policy Dialogue:Challenges in Implementing Lifelong Learning for Adults,UNESCO Institute for Lifelong Learning, Busan, South Korea.		
	論文	生涯学習とは何か—「自己の再帰的プロジェクト」という観点から—	赤尾勝己	2006年5月1日	赤尾勝己編集『生涯学習社会の諸相』現代のエスプリ第466号、32-46.		
	論文	生涯学習関連施設における市民企画講座	赤尾勝己	2006年5月1日	赤尾勝己編集『生涯学習社会の諸相』現代のエスプリ第466号、142-154.		

	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子			
31	氏名	木村 和美	研究室名	生涯教育学	学年	DC 1 年次	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学会発表	教育の主体としての家庭・地域の形成—被差別部落における社会関係資本に着目して—	木村和美	2006年9月23日	日本教育社会学会第58回大会発表要旨集録 p.367-368		
	大学・研究所報告等	教育の主体としての地域コミュニティづくり—被差別部落における地域保護者組織の役割に着目して—	木村和美	2007年3月	大阪大学教育学年報(印刷中)		
	雑誌	被差別部落の教育観	木村和美	2007年2月10日	月刊 Human Rights No.227 p.52-56		

	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子			
32	氏名	岡崎 洋三	研究室名	生涯教育学	学年	MC 1 年次	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学会発表	ライフストーリーを書くことについての生涯教育学的アクションリサーチ	岡崎洋三	2006年9月9日	日本社会教育学会第53回研究大会		
	著書	命の限り	片田澄子(岡崎洋三は編集者)	2006年5月19日	朝日新聞社		

	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	中村 高康	小野田 正利		
33	氏名	川口 俊明	研究室名	教育文化学	学年	DC	2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学会発表	習熟度別指導は有効かー「効果のある学校」論の視点からー	志水宏吉・堀家由妃代・原清治・川口俊明・伊佐夏実・盛満弥生・前馬優策・上野裕史	2006年9月22日	日本教育社会学会第58回大会発表		
	報告書	平成18年度「尼崎市学力生活実態調査」	志水宏吉・川口俊明・伊佐夏実・盛満弥生・前馬優策・上野裕史・西川陽子・大野順子・石原遼子	2006年11月末	教育文化学研究室		
	学術論文	学力格差と「学校の効果」ー小学校の学力テストの分析からー	川口俊明	2006年12月末予定(印刷中)	『教育学研究』第73巻第4号, 日本教育学会		○
	学術論文	学力格差の検討ー学校の社会的文化的背景を中心にー(仮題)	川口俊明	2007年3月末予定	教育文化学年報Vol.2, 教育文化学研究室		

	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	平沢 安政			
34	氏名	奥村 美保	研究室名	教育文化学	学年	MC	2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	分担執筆	倫敦マイノリティ事情(5)イングランドのコミュニティと教育ー院生のみたイギリス	石川朝子・奥村美保	2006年7月7日	解放教育研究所編 解放教育、明治図書出版, 36, 8, No.465, 57-67		
	学術論文	ニューカマーの子どもと教師	奥村美保	2006年3月31日	大阪大学人間科学部・人間科学研究科教育文化学年報(印刷中)		
	学会発表	高校を生きるニューカマー(その1)ー大阪府における教育支援体制をめぐるー	志水宏吉・新矢麻紀子・乾美紀・榎井縁・鍛冶致・比嘉康則・奥村美保	2006年9月22日	日本教育社会学会第58回大会発表要旨収録 93-98		
	大学・研究所等報告	ニューカマー児童生徒の就学・学力・進路の実態把握と環境改善に関する研究(その1)	志水宏吉・中島智子・新矢麻紀子・榎井縁・林寿和彦・清水睦美・児島明・乾美紀・鍛冶致・今井貴代子・石川朝子・棚田洋平・奥村美保・比嘉康則・中島葉子・山崎香織・白山真澄	2006年4月	平成17~19年度科研費補助金(基盤研究B)研究成果報告書		
	大学・研究所等報告	まちかど多言語表示調査報告書	庄司博史・金美善・藤井幸之助・薄井良子・中谷潤子・布尾勝一郎・佐藤誠子・寺尾智史・笠井弘美・池田玲子・宮本愛梨・奥村美保・他	2006年7月25日	多言語化現象研究会発行		

指導教員	志水 宏吉	副指導教員	小野田 正利			
35 氏名	山本 晃輔	研究室名	教育文化学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	高校を生きるニューカマー	志水宏吉 中島智子 新保真紀子 今井貴代子 石川朝子 棚田洋平 山本晃輔	2006年9月22日	日本教育社会学会第58会大会発表要旨集		○
学術論文	ニューカマーの子どもたちにおける自己の物語についての一考察	山本晃輔	2006年3月末予定	教育文化学年報Vol.2		○

指導教員	志水 宏吉	副指導教員	小野田 正利			
36 氏名	上野 裕史	研究室名	教育文化学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	習熟度別指導は有効か？～「効果のある学校」の視点から	志水宏吉・原清治・堀家由妃代・川口俊明・伊佐夏実・盛満弥生・前馬優策・西川陽子・上野裕史	2006年9月22日	日本教育社会学会第58回大会論文要旨集		
分担執筆	家庭背景と学習態度の関連	志水宏吉・川口俊明・伊佐夏実・前馬優策・盛満弥生・石原陽子・近藤真一・西川陽子・大野順子・上野	2006年11月1日	尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告 p35～43		
大学・研究所等報告	「効果のある学校」を作る教師集団(仮題)	大阪大学大学院人間科学研究科 教育文化学研究室	2007年2月15日	教育学文化学年報 第2号 2006年度		

指導教員	志水 宏吉	副指導教員	中村 高康	小野田 正利		
37 氏名	前馬 優策	研究室名	教育文化学研究室	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	習熟度別指導は有効か	志水宏吉・原清治・堀家由妃代・川口俊明・伊佐夏実・盛満弥生・前馬優策・上野裕史・西川陽子	2006年9月22日	日本教育社会学会第58会大会発表要旨集		
報告書	平成18年度尼崎市学力・生活実態調査報告書	志水宏吉・川口俊明・伊佐夏実・盛満弥生・前馬優策・上野裕史・西川陽子・近藤真一・大野順子・石原陽子	2006年10月31日	平成18年度尼崎市学力・生活実態調査報告書		
学術論文	現代日本社会におけるコード理論の応用可能性(仮)	前馬 優策	2006年3月末予定	教育文化学年報, Vol.2		

共生学系 在籍者 回答者 研究成果 成果有の人数%  
 55人 22人 有 18 82%  
 回答者率 40% 無 4

指導教員	内海 成治	副指導教員	中村 安秀			
1 氏名	津吹 直子	研究室名	国際協力論	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
大学・研究所等報告	国際機関調査報告	大阪大学大学院人間科学研究科国際協力論講座	2006年4月	文部科学省拠点システム構築事業報告書 紛争解決後の国づくりに係る教育計画モデルの開発 Pp.55-82.		
大学・研究所等報告	UN Agencies' Policy on Education Response in Post-Conflict Situations	大阪大学大学院人間科学研究科国際協力論講座	2006年4月	Institutional Base for International Educational Cooperation System by MEXT <i>Development of an Education Plan Model for Post-Conflict Reconstruction</i> Pp. 11-27.		
翻訳	INEE「緊急時の教育ミニマム・スタンダード」	大阪大学大学院人間科学研究科国際協力論講座	2006年8月10日	INEE「緊急時の教育ミニマム・スタンダード」(INEE. 2004. Minimum Standards for Education in Emergencies, Chronic Crises and Early Reconstruction) Pp.11-44.		
大学・研究所等報告	復興支援における教育支援のあり方	内海成治・高橋真央・津吹直子	2006年12月	JICA客員研究員報告書, 9-24.(印刷中)		
学術論文	緊急復興教育支援と国際的ネットワークINEEに関する考察	津吹直子	2007年2月25日	ボランティア学研究, Vol.7, 95-120.(印刷中)		○

指導教員	内海 成治	副指導教員	中村 安秀			
2 氏名	長沼 豊	研究室名	国際協力論	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	大学・短大におけるボランティア関連科目の開講状況についての分析 -2003年調査における特質を中心に-	長沼 豊	2006年10月20日	日本ボランティア協会「ボランティア学習研究」第7号 ,pp.5-11		
学術論文	高等教育におけるボランティア学習の実態に関する考察 -ボランティア関連科目の分析を通して-	長沼 豊	2007年2月予定	国際ボランティア学会「ボランティア学研究」Vol.7(2006) , pp.23-44		○

指導教員	内海 成治	副指導教員	中村 安秀			
3 氏名	岡野 恭子	研究室名	国際協力論	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
研究ノート	ハザードの社会的地位に関する一考察	岡野恭子		ボランティア人間科学講座紀要 第7号(印刷中)		

指導教員	内海 成治	副指導教員	中村 安秀			
4 氏名	ピヤタムロンチャイ チャリダー	研究室名	国際協力論	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
大学・研究所等報告	"Integrated Study" in Thai and Japanese Primary Schools -A Case Study of Cultural Exchange Learning Unit-	Piyathamrongchai Chalida		大阪大学大学院人間科学研究科、ボランティア人間科学講座		

指導教員	内海 成治	副指導教員	中村 安秀			
5 氏名	浅野 円香	研究室名	国際協力論	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	ケニアの「小さい学校」の意味 -マサイランドにおける不完全学校の就学実態-	内海成治、澤村信英、高橋真央、浅野円香	2006年10月1日	『国際教育協力論集』9, 22, 27-36.		
学会発表	カンボジアの若者による HIV/AIDSピア・エデュケーション	中村安秀、浅野円香、Chin Mardy	2007年3月3日	第25回日本国際保健医療学会西日本地方会		

指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治			
6 氏名	CHANG Margaret	研究室名	国際協力論	学年19	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	Local Organizations and Their Preventive Programs for the Street Children in Iloilo City, Philippines (フィリピン・イロイロ市のストリートチルドレンに関する地域組織と予防プログラム)	Chang, Margaret & Prof. Yasuhide Nakamura	2006年12月1日	Journal of Asian Women's Studies Vol. 15, pp4-15		
学会発表	Attitude of Filipino Children towards Physical Punishment (体罰に対するフィリピン児童の態度)	Chang, Margaret	2006年9月3日	the 16th International Society for Prevention of Child Abuse & Neglect (ISPCAN) International Congress		

指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治			
7 氏名	池上 清子	研究室名	国際協力論	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査 有無
学会発表	パキスタン地震後の国際保健分野の支援事例	池上清子	2006年10月11日	第47回日本熱帯医学会・第21回日本国際保健医療学会合同大会プログラム抄録集、p65		
分担執筆	国際機関をめざす人へ	池上清子	2006年 10月8日	有田典代編「国際交流・国際協力の実践者たち」明石書店、pp72-82		
学術論文	グローバル時代の人口動向	池上清子・土屋郁子	2006年7月10日	ジェンダーと法、ジェンダー法学会編、「ジェンダーと少子化社会」No3、pp64-79		
研究会発表	開発途上地域の出生力とリプロダクティブ・ヘルス/ライツ	池上清子・佐藤龍三郎	2007年2月3日	人口学研究会における研究発表は、「世界の人口開発問題Ⅰ 総論編」阿藤誠・佐藤龍三郎編の第5章となり、IIの各論といっしょに原書房より2008年2月出版予定。		
分担執筆	保健・人口・ジェンダー分野におけるNGOと国連のパートナーシップ	池上清子	2006年7月31日	功刀達郎・毛利勝彦編「国際NGOが世界を変える」東信堂、pp132-149		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2006年6月28日	池上清子	「世界が認めた日本人女性100人」の一人として紹介	Newsweek日本版
2007年1月23日	池上清子	ブータンの母子保健向上と日本のODAに関する調査	毎日新聞

指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治			
8 氏名	北野 尚美	研究室名	国際協力論	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査 有無
学会発表	妊娠後期に著しい体重減少があった母体と新生児無呼吸発作の母児例	北野 尚美	2006年10月21日	第146回日本小児科学会和歌山地方会(和歌山市)		
学会発表	アジア的視点にたった児童虐待予防のためのアジアの隣人ネットワークの成果報告	北野 尚美	2007年3月3日	第25回日本国際医療学会西日本地方会(名古屋)		
講演	子どもの病気ー感染する病気とそのケアー	北野 尚美	2006年4月1日	厚生労働省委託事業和歌山県こども緊急サポートネットワーク・保育スタッフ会員研修会(田辺市)		
講演	児童虐待防止に外来診療が果たす役割	北野 尚美	2006年5月19日	第6回有田病診連携懇話会(有田市)		
講演	子どもの病気のミニ講座ーうちでのポイントー	北野 尚美	2006年6月24日	田辺市ファミリーサポートセンター・平成18年度第1回子育て支援セミナー(田辺市)		
講演	子どもの病気ー急を要する病気と病院への受診ー	北野 尚美	2006年6月30日	厚生労働省委託事業和歌山県こども緊急サポートネットワーク・スタッフ会員研修会(海南市)		

<研究費交付状況>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2005-2006	北野尚美	和歌山県における育児支援プログラムに関する研究	和歌山医学振興会医学研究助成16共4号

指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治			
9 氏名	大西 健丞	研究室名	国際協力論	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	国際NGOと地球的問題群(平和の風を日本から)	大西健丞	2006年7月31日	功刀達朗・毛利勝彦編著 国際NGOが世界を変える～地球市民社会の黎明～、東信堂 Pp.45-64.		
学術論文	NGOと市民社会	大西健丞	2006年10月25日	大芝亮・藤原帰一・山田哲也編 平和政策 Building Peace、有斐閣ブックス Pp.333-353.		

指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治			
10 氏名	荒木 京子	研究室名	国際協力論	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	マラウイ国における医療技術者養成に関する課題	荒木京子	2006年10月13日	第21回日本国際保健医療学会論文集 Pp.212.		○
学会発表	シニア海外ボランティア活動:パラグアイの事例から	荒木京子	2007年2月24日	第8回国際ボランティア学会論文集(印刷中)		○
大学・研究所等報告	マラウイの保健事情	荒木京子	2006年11月15日	アールディーアイ研究・活動報告第4号 Pp.38-43.		

指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治			
11 氏名	板東 あけみ	研究室名	国際協力論	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	モデル地域での活動経験を全国展開に活かす方法論の開発ーベトナム・ベンチエ省の母子健康手帳プログラム	板東あけみ・中村安秀・Dinh Phuong Hoa・Vu Anh Dao・Nguyen Quoc Thoi・Huynh Thi Thanh Binh・野中路子・岩花みゆき	2006年10月11日	第21回 国際保健医療学会プログラム抄録集 P.131		
学術論文	ベトナムへの母子健康手帳の導入	板東あけみ・中村安秀	2007年1月5日	国際保健支援会 P.7-12		
学会発表	ベトナムへの母子健康手帳の導入	板東あけみ・中村安秀	2007年3月3日	第25回 国際保健医療学会 西日本地方会		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2006年11月	板東あけみ	JICA 障害児教育カウンターパート研修(南米6カ国) 講師	
2006年11月	板東あけみ	第5回国際母子健康手帳シンポジウム(ベトナム) 開催実行委員会事務局長	
2007年2月	板東あけみ	①JICA 障害児教育カウンターパート研修(アフガニスタン)講師 ②JICA 母子保健分野カウンターパート合同研修(バングラデシュ、フィリピン) 講師	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2006年10月	板東あけみ	トヨタ財団研究助成	トヨタ財団

指導教員	渥美 公秀	副指導教員	堤 修三			
12 氏名	岡本(青木) 千帆子	研究室名	共生社会論	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学術論文	職場適応援助者事業に関する一考察—ジョブコーチから見たジョブコーチ事業—	青木千帆子・渥美公秀	印刷中	大阪大学人間科学研究科紀要,33,113-128.		
学会発表	The group dynamics of supported employment.	Aoki, C. & Atsumi, T.	2006年5月26日	日本グループ・ダイナミクス学会第53回大会発表論文集, 176-177, 2006		
学会発表	社会的表象としての「障害者」に関する検討	青木千帆子・渥美公秀	2007年2月25日	国際ボランティア学会第8回大会発表論文集		
研究会発表	障害者の就労を通して見る「普通」と「健常」	青木千帆子・渥美公秀	2007年3月28日	フィールドワーク社会心理学研究会		
会議発表	職場適応援助者の「援助」についての一考察	青木千帆子・渥美公秀	2007年3月10日	第3回ジョブコーチネットワーク会議抄録		

指導教員	渥美 公秀	副指導教員	堤 修三			
13 氏名	高 玉潔	研究室名	共生社会論	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	Learning Activity for Positive Change in Life: A Case of Revitalization of Tao-Mi Village after Earthquake Disaster	Kao, Yu-Chieh Atsumi, Tomohide	2006年10月28日	ASIA' S EDUCATIONAL MIRACLE Child development in Family, school and cultural contexts		
学会発表	台湾921震災後農山村の復興—桃米村の事例研究	高 玉潔 渥美公秀	2006年11月19日	関西心理学会第118回論文集 47		
大学・研究所等報告	災害ボランティア経験者が語った「智恵」	高 玉潔 渥美公秀	2007年3月1日	人間科学ボランティア講座2006年紀要(印刷中)		
学術論文	台湾921震災後における農山村の復興——桃米生態村の事例研究——	高玉潔・渥美公秀・加藤謙介・宮本匠・関嘉寛・諏訪晃一・山口悦子	2007年2月28日	自然災害科学 Vol.25, No.4, 2006(印刷中)		

指導教員	渥美 公秀	副指導教員	堤 修三			
14 氏名	松原 崇	研究室名	共生社会論	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
学会発表	障害疑似体験の意味構成	松原崇・佐藤貴宣	2006年8月6日	日本質的心理学会第3回大会論文集 52		
学会発表	Changing a community through drawing a map: A case of drawing an access map for disabled people.	Matsubara, T. & Atsumi, T.	2006年7月20日	26th International Congress of Applied Psychology		○
学会発表	A study about mapping practices: An action research on the activity to make an access map for disabled people in university campuses	Matsubara, T. & Atsumi, T.	H18.5.27	日本グループ・ダイナミクス学会第53回大会発表論文集 174-175		
学術論文	高等教育における障害学生支援:大阪大学の取り組み	松原崇・渥美公秀	印刷中(2月末発行予定)	ボランティア学研究		○

	指導教員	渥美 公秀	副指導教員	堤 修三			
15	氏名	中村 有美	研究室名	共生社会論	学年	DC 1 年次	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	分担執筆	第5章:学校・家庭・地域の協働に向けた地域組織の変遷:縄手南中学校区の実践から	中村有美	2007年3月15日	高田一宏 編「コミュニティ教育学への招待」、部落解放・人権研究所		
	学術論文	フリースクールに通う子どもを持つ保護者の語り	中村有美	印刷中	SYN(大阪大学大学院人間科学研究科ボランティア人間科学講座紀要)		
	学会発表	Functions of Free Schools as a New Community	Nakamura, Y., Atsumi, T.	2006, May	第53回日本グループ・ダイナミクス学会. 論文集 178-179、武蔵野大学		
	学会発表	Roles of Free School as a new community	Nakamura, Y., Atsumi, T.	2006, July	The 26th International Congress of Applied Psychology, P-1563. In Athens.		
	学会発表	Free schools as a place against the personalization.	Nakamura, Y. & Atsumi, T.	2006, October	Korea Association of Psychological and Social Issue-Asia's Educational Miracle - Child Development in Family, School and Cultural Contexts. Korea.		
	話題提供	さらなる教育コミュニティづくりに向けて(コミュニティ教育(1)活動理論との接続について)	中村有美	2006, November	第70回日本心理学会, WS038. 福岡国際会議場		
	翻訳	第22章: 向社会的行動と反社会的行動	渥美公秀・諏訪晃一・中村有美	印刷中	Yamauchi, M., Michimata, C., Okamoto, Y., Shirakashi, S., Suzuki, N., and Tosima T. (編) 学生のための心理学ハンドブック. ナカニシヤ出版 [Eysenck M. W. 2000. Chapter 22: Pro- and Anti-social Behavior. Psychology: A Student's Handbook. Psychology Press.]		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2006, October	Nakamura, Y. & Atsumi, T.	The Kim-Yamaguchi Award	Korea Association of Psychological and Social Issue

	指導教員	斉藤 弥生	副指導教員	堤 修三			
16	氏名	吉岡 洋子	研究室名	共生社会論	学年	DC 3 年次	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査有無
	学会発表	地域における事業型福祉NPOの現状と可能性	吉岡洋子・井原真由子	2006年6月11日	日本地域福祉学会第20回大会要旨集, p.216		
	単著	4章 社会と関わる-NPO論	吉岡洋子	2006年8月31日	岡沢憲英・中間真一編『スウェーデン 自立社会を生きる人びと』早稲田大学出版部, pp.103-118		
	大学・研究所等報告	Preliminary Consideration of Welfare NPO under and beyond Care Business Contract: Case Study of NPO-	吉岡洋子	2006年11月	大阪大学大学院人間科学研究科ボランティア人間科学講座「ボランティア人間科学紀要Syn」, 7(印刷中)		
	翻訳	13章 国際比較によるスウェーデン福祉政策に関する世論	高橋美恵子・吉岡洋子	2007年3月	丸尾直美監修・レグランド塚口敏子監訳『福祉政策と労働市場-21世紀に向けた日本モデルとスウェーデンモデルの変遷』(Welfare Policy and Labour Markets- Transformations of the Japanese and Swedish Models for the 21st Century) (校正中)		
	翻訳	14章 課税制度の変遷-世帯単位から個人単位は女性を解放したか	吉岡洋子	2007年3月	丸尾直美監修・レグランド塚口敏子監訳『福祉政策と労働市場-21世紀に向けた日本モデルとスウェーデンモデルの変遷』(Welfare Policy and Labour Markets- Transformations of the Japanese and Swedish Models for the 21st Century) (校正中)		

	指導教員	齊藤 弥生	副指導教員	堤 修三			
17	氏名	山口 幸	研究室名	共生社会論	学年	DC 3 年次	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査 有無
	学術論文	認知症ケアのあり方に関する研究	山口 幸	2006年12月22日	大阪大学大学院人間科学研究科博士論文		
	学会発表	認知症ケアデザインと福祉文化	山口 幸	2006年11月25日	第17回日本福祉文化学会大会(埼玉)		
	講演	スウェーデンの生活と高齢者福祉	山口 幸	2006年5月23日	神戸中ロータリークラブ		
	講演	認知症ケアの基礎知識	山口 幸	2006年11月18日	社会福祉法人光朔会		
	講演	認知症ケアの基礎知識	山口 幸	2007年2月15日	神戸市中央区宮本地区ふれあい給食会		
	講演	認知症ケアの基礎知識	山口 幸	2007年3月11日	介護予防指導者研修会(大阪)		

<その他:新聞記事など>

	年月	氏名	内容	掲載紙誌名
	2006.8	山口 幸	地域における認知症高齢者グループホーム	精神保健ミニコミ誌クレリエール No.351

	指導教員	齊藤 弥生	副指導教員	堤 修三			
18	氏名	内田 哲	研究室名	共生社会論	学年	MC 1 年次	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		審査 有無
	学会発表	「子どもの居場所づくり」が子ども、大人、地域に与える効果に関する研究	内田 哲	2007年2月24日	国際ボランティア学会第8回大会		



